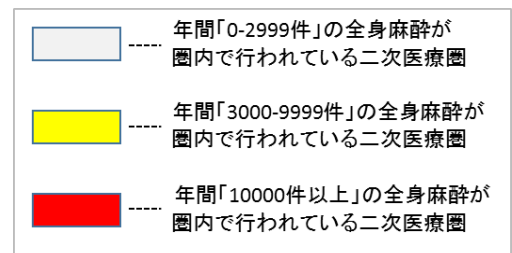


30. 和歌山県

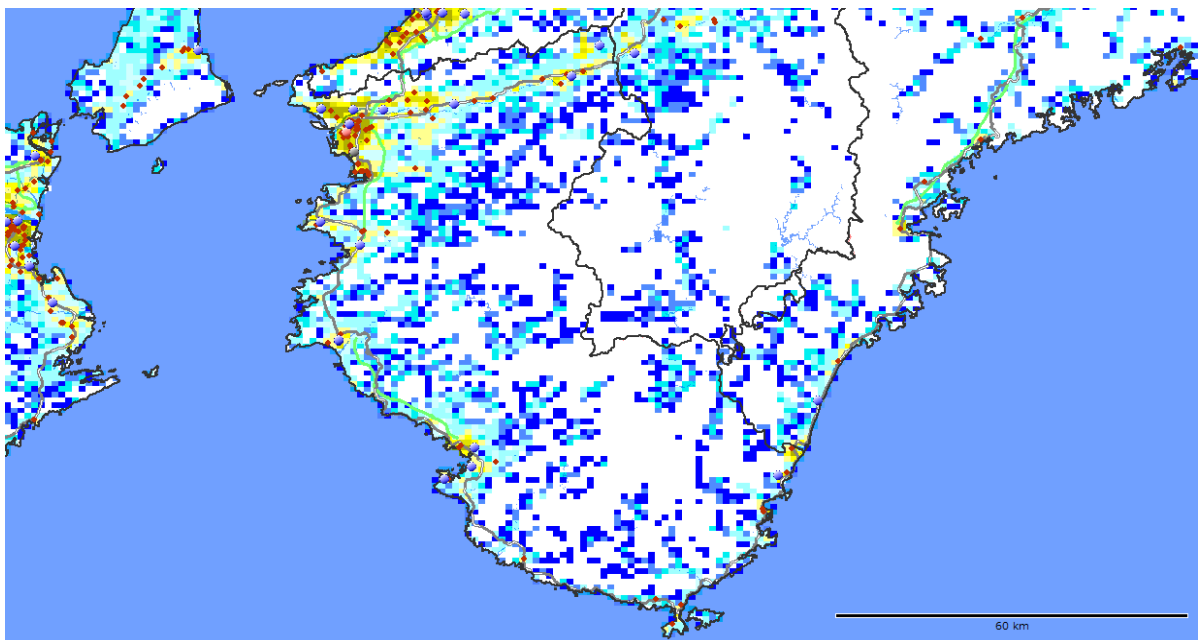


目次

和歌山県	30	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	30	-	8
1. 和歌山医療圏	30	-	20
2. 那賀医療圏	30	-	25
3. 橋本医療圏	30	-	30
4. 有田医療圏	30	-	35
5. 御坊医療圏	30	-	40
6. 田辺医療圏	30	-	45
7. 新宮医療圏	30	-	50

30. 和歌山県

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS
Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口 (1平方キロ)



DPC病院



(和歌山県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 和歌山県は、総人口約964千人(2015年)、面積4,725km²、人口密度は204人/km²である。

***人口の将来予測：** 和歌山県の総人口は2025年に876千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に734千人へと減少する(2025年比-16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の150千人が、2025年にかけて179千人へと増加し(2015年比+19%)、2040年には168千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 和歌山県の一人当たり医療費(国保)は350千円(偏差値51)、介護給付費は298千円(偏差値63)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 和歌山県の一人当たり急性期医療密度指数は1.24、一人当たり慢性期医療密度指数は1.18で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が55(病院医師数53、診療所医師数63)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は52と全国平均レベルである。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は58で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は52と療養病床数は全国平均レベルである。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値53とやや多く、回復期病床数は偏差値54とやや多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は48で精神病床数は全国平均レベルである。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は65で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 和歌山県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、15,833人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が10,046床(偏差値55)、高齢者住宅等が5,787床(偏差値48)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、13,626人(75歳以上1,000人当たりの偏差値61)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設51、特別養護老人ホーム55、介護療養型医療施設50、有料老人ホーム41、軽費ホーム52、グループホーム51、サ高住58である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値56と多く、在宅療養支援病院は偏差値54とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値66と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、4,332人(75歳以上1,000人当たりの偏差値77)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

***介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数は-14%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移

【人口と医療需要】

和歌山県の総人口は、2005年1,035,969人が、2015年に963,579人と7%減少し、2025年の人口が875,553人と予測され、2005年→2025年の間に15%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に5%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

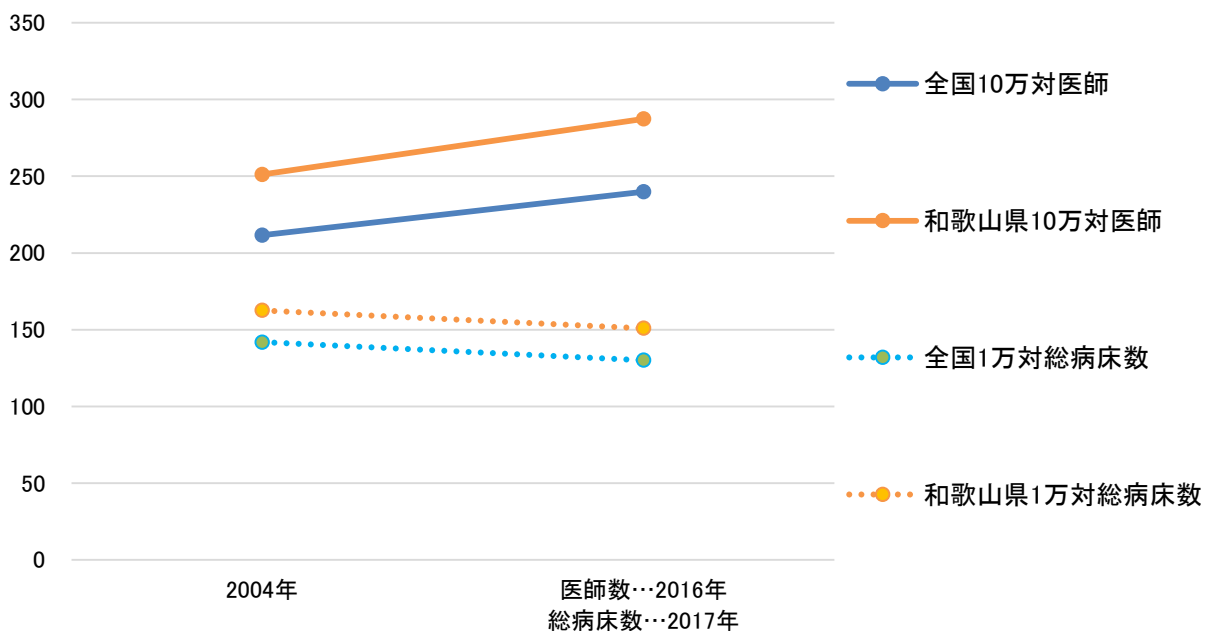
2004年の病院数が92(人口10万人当たり8.9病院(全国平均7.1)偏差値55)であったが、2017年に83(人口10万人当たり8.6病院(全国平均6.6)偏差値54)となり、13年間で9病院が減少した。

2004年の診療所数が1,084(人口10万人当たり105診療所(全国平均76)偏差値64)であったが、2017年に1,035(人口10万人当たり107診療所(全国平均80)偏差値65)と、49診療所が減少した。

2004年の総病床数が16,846床(人口1万人当たり163(全国平均142)偏差値54)であったが、2017年に14,542床(人口1万人当たり151(全国平均130)偏差値54)と、2,304床の減少、率にして14%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

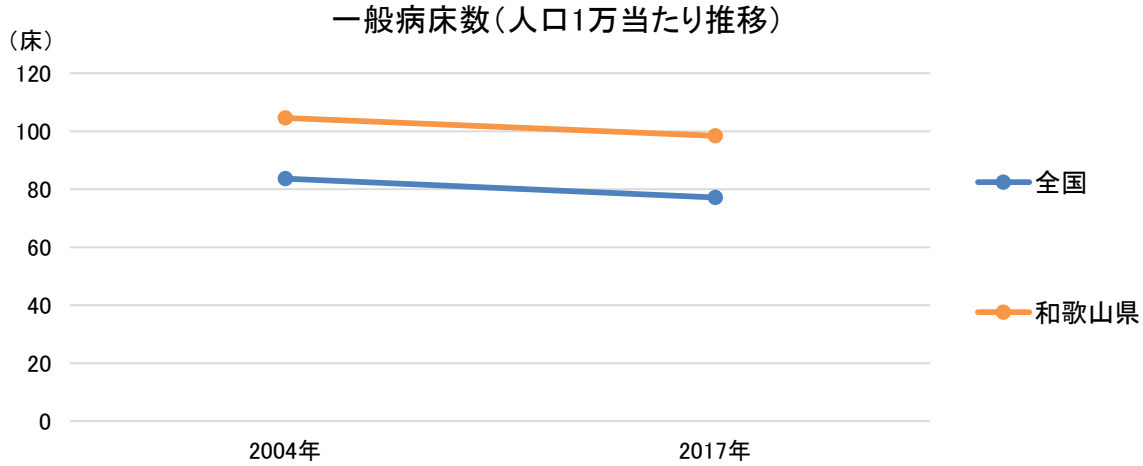
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が2,602人(人口10万人当たり251人(全国平均212人)偏差値55)であったが、2016年に2,768人(人口10万人当たり287人(全国平均240人)偏差値55)と、166人の増加、率にして6%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



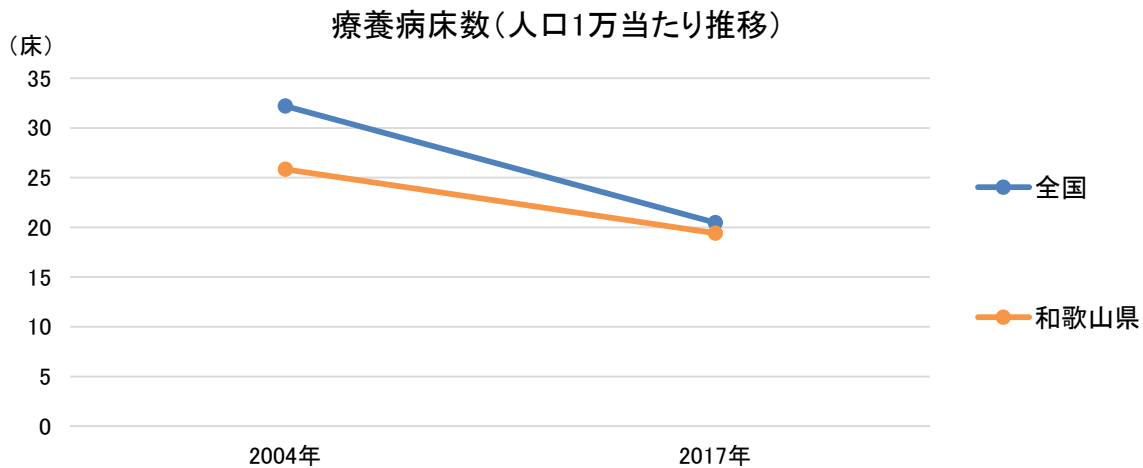
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が10,837床(人口1万人当たり105(全国平均84)偏差値57)であったが、2017年に9,487床(人口1万人当たり98(全国平均77)偏差値58)と、1,350床の減少、率にして12%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



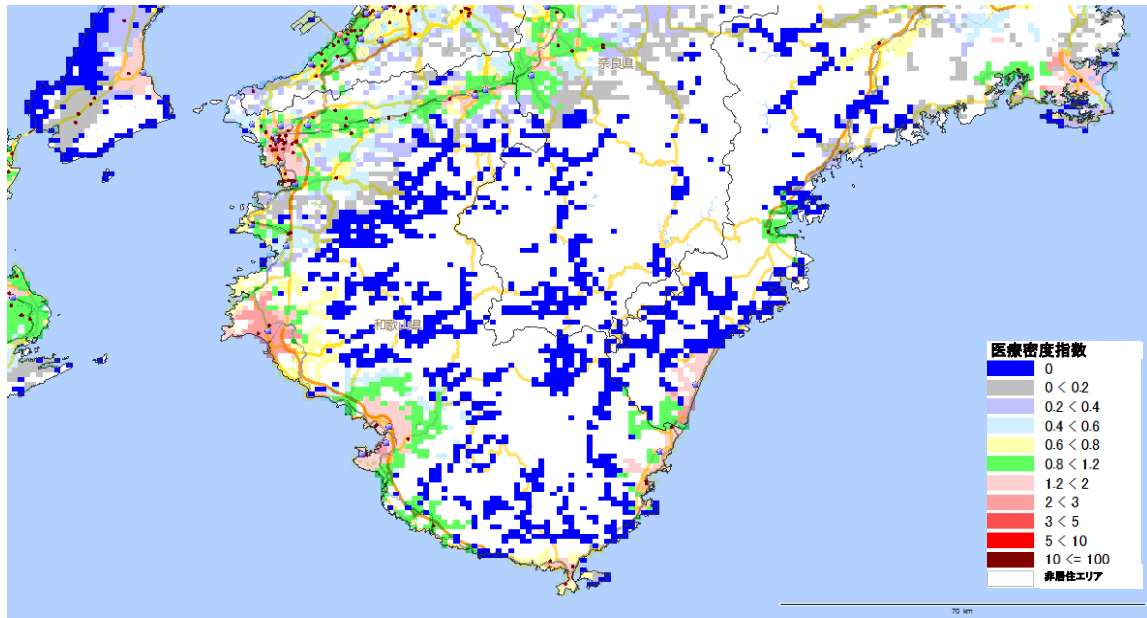
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が3,108床(75歳以上1,000人当たり26(全国平均32)偏差値46)であったが、2017年に2,909床(75歳以上1,000人当たり19(全国平均20)偏差値49)と、199床の減少、率にして6%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



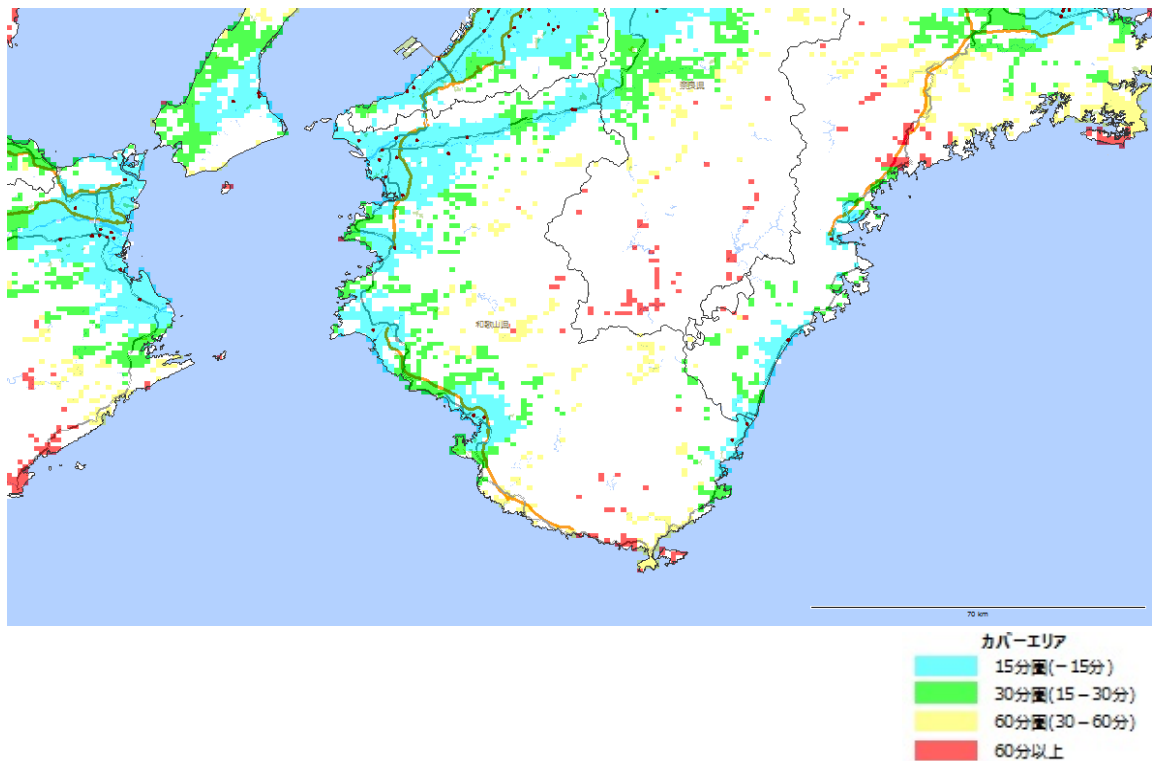
(和歌山県) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表30-1 急性期医療密度指数マップ



図表30-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料

資_図表 30-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		27%	122,544	110,919	16,322	21,800	22,392	-4%	-9%	34%	3%
和歌山県	964	40位	4,725	30位	203.9		31%	876	734	150	179	168	-9%	-16%	19%	-6%
和歌山	425	44%	438	9%	970.3	地方都市型	30%	397	349	63	78	70	-7%	-12%	24%	-10%
那賀	116	12%	267	6%	435.2	地方都市型	26%	110	96	14	19	21	-5%	-13%	36%	11%
橋本	88	9%	463	10%	190.6	過疎地域型	32%	77	60	14	17	17	-13%	-22%	21%	0%
有田	74	8%	475	10%	156.4	過疎地域型	32%	65	52	13	14	13	-12%	-20%	8%	-7%
御坊	64	7%	579	12%	109.8	過疎地域型	32%	56	45	11	11	11	-13%	-20%	0%	0%
田辺	128	13%	1,580	33%	81.1	過疎地域型	32%	114	92	22	25	24	-11%	-19%	14%	-4%
新宮	68	7%	922	20%	73.6	過疎地域型	39%	56	41	14	16	13	-18%	-27%	14%	-19%

出典 <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月
<人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月
<面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月

資_図表 30-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,485,377	1,772,098	-19.3%
和歌山県	1.24	1.18	13,065	14,953	-14.4%
和歌山	1.44	0.79	5,090	6,462	-27.0%
那賀	0.86	0.46	1,281	1,580	-23.3%
橋本	0.93	0.89	1,263	1,395	-10.5%
有田	0.58	0.34	1,230	1,172	4.7%
御坊	1.73	1.77	1,119	979	12.5%
田辺	1.34	1.91	1,945	2,053	-5.6%
新宮	1.09	1.28	1,137	1,311	-15.3%

出典 <一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2016年度版)序章【参考資料】参照(日医総研WP no.375))
<75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

資_図表 30-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	347	(43)	1.000	133	(30)	1.000	188	(17)	1.000	252	(35)
和歌山県	350	51	1.005	134	50	0.999	192	52	1.016	298	63
和歌山	365	54	1.029	135	50	0.987	206	60	1.065	307	66
那賀	348	50	1.016	130	49	0.988	194	53	1.041	265	54
橋本	372	56	1.029	139	52	0.999	207	61	1.053	300	64
有田	331	46	0.991	130	49	1.009	179	45	0.987	287	60
御坊	353	51	1.039	144	54	1.102	184	48	1.000	293	62
田辺	311	42	0.928	124	47	0.960	165	37	0.907	311	67
新宮	351	51	0.970	145	54	1.040	185	48	0.941	287	60
出典	<一人あたり医療費>平成28年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成29年度介護保険事業状況報告(年報) 平成29年度累計(平成29年3月サービス分から平成30年2月サービス分まで) ※介護給付費の二次医療圏値の算定には、福岡県と沖縄県の一部市町村が二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。また、複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載。										

資_図表 30-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	919	(120)	1.000	458	(98)	1.000	427	(39)	1.000
和歌山県	913	50	0.981	454	50	0.972	431	51	1.002
和歌山	962	54	1.035	465	51	1.003	466	60	1.078
那賀	962	54	1.030	474	52	1.017	458	58	1.056
橋本	984	55	1.048	496	54	1.049	456	57	1.055
有田	897	48	0.957	477	52	1.006	395	42	0.920
御坊	897	48	0.959	472	51	0.993	405	44	0.948
田辺	787	39	0.842	394	43	0.834	368	35	0.856
新宮	803	40	0.859	405	45	0.855	375	37	0.879
出典	<一人あたり医療費>平成28年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

資_図表 30-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,412		6.6	(4.6)	101,471		80	(18.9)
和歌山県	83	1.0%	8.6	54	1,035	1.0%	107	65
和歌山	43	52%	10.1	58	503	49%	118	70
那賀	8	10%	6.9	51	104	10%	90	55
橋本	5	6%	5.7	48	90	9%	102	62
有田	6	7%	8.1	53	74	7%	100	60
御坊	4	5%	6.3	49	66	6%	104	63
田辺	9	11%	7.0	51	126	12%	98	60
新宮	8	10%	11.8	61	72	7%	106	64
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 30-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)				無床診療所数				有床診療所数			
	診療所数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	無床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	有床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	101,471		80	(18.9)	94,269		74	(18.7)	7,202		5.7	(6.0)
和歌山県	1,035	1.0%	107	65	967	1.0%	100	64	68	0.9%	7.1	52
和歌山	503	49%	118	70	468	48%	110	69	35	51%	8.2	54
那賀	104	10%	90	55	97	10%	84	55	7	10%	6.0	51
橋本	90	9%	102	62	85	9%	96	62	5	7%	5.7	50
有田	74	7%	100	60	69	7%	93	60	5	7%	6.7	52
御坊	66	6%	104	63	64	7%	101	64	2	3%	3.1	46
田辺	126	12%	98	60	118	12%	92	60	8	12%	6.2	51
新宮	72	7%	106	64	66	7%	97	62	6	9%	8.8	55
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 30-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	病院総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院+診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,554,879		1,223	(48.1)	98,355		77	(94)	1,653,234		1,301	(53.7)
和歌山県	13,473	0.9%	1,398	54	1,069	1.1%	111	54	14,542	0.9%	1,509	54
和歌山	6,431	48%	1,512	56	539	50%	127	55	6,970	48%	1,639	56
那賀	1,214	9%	1,046	46	121	11%	104	53	1,335	9%	1,150	47
橋本	888	7%	1,005	45	77	7%	87	51	965	7%	1,092	46
有田	931	7%	1,254	51	69	6%	93	52	1,000	7%	1,347	51
御坊	969	7%	1,524	56	37	3%	58	48	1,006	7%	1,582	55
田辺	1,763	13%	1,376	53	121	11%	94	52	1,884	13%	1,470	53
新宮	1,277	9%	1,880	64	105	10%	155	58	1,382	10%	2,034	64
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 30-8 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般病床数				療養病床数				精神病床数			
	一般病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	療養病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	精神病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	890,865		701	(223)	325,228		256	(203)	331,700		261	(210)
和歌山県	8,546	1.0%	887	58	2,781	0.9%	289	52	2,099	0.6%	218	48
和歌山	4,435	52%	1,043	65	1,163	42%	274	51	825	39%	194	47
那賀	660	8%	569	44	329	12%	283	51	221	11%	190	47
橋本	656	8%	743	52	108	4%	122	43	120	6%	136	44
有田	392	5%	528	42	235	8%	316	53	300	14%	404	57
御坊	799	9%	1,256	75	51	2%	80	41	100	5%	157	45
田辺	1,012	12%	790	54	549	20%	428	58	198	9%	154	45
新宮	592	7%	871	58	346	12%	509	62	335	16%	493	61
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 30-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期リハビリ病棟病床数				地域包括ケア病棟病床数			
	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	80,806		64	(46)	73,895		58	(63)
和歌山県	787	1.0%	82	54	971	1.3%	101	57
和歌山	405	51%	95	57	453	47%	107	58
那賀	94	12%	81	54	96	10%	83	54
橋本	85	11%	96	57	104	11%	118	60
有田	68	9%	92	56	54	6%	73	52
御坊	41	5%	64	50	62	6%	97	56
田辺	94	12%	73	52	134	14%	105	57
新宮	0	0%	0	36	68	7%	100	57
出典	平成29年度病床機能報告 平成29年7月				平成30年5月地方厚生局			

資_図表 30-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	445,096	396,156	16,674	1,098,305	495,042	301,360	44.5%	(27%)	5.2%	(22%)
和歌山県	5,992	5,089	118	7,404	3,544	2,502	58.9%	55	4.5%	50
和歌山	2,580	2,378	54	3,828	2,035	1,108	53.9%	54	4.6%	50
那賀	304	300	0	907	360	329	45.5%	50	0.0%	48
橋本	404	400	0	484	256	108	61.0%	56	0.0%	48
有田	641	337	0	290	135	155	71.4%	60	0.0%	48
御坊	687	568	0	282	231	51	71.1%	60	0.0%	48
田辺	942	716	24	816	295	521	70.8%	60	4.4%	50
新宮	434	390	40	797	232	230	62.7%	57	14.8%	54
出典	地方厚生局指定一覧平成30年12月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計 公的病院の分類は、「新公立病院改革プラン」と「公的医療機関等2025プラン」の策定対象医療機関および開設者が国の医療機 関とし、それ以外は民間病院とした。									

資_図表 30-11 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数				分娩件数			
	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	3,945,312		3,104	(2,557)	923,436		727	(264)
和歌山県	17,688	0.4%	1,836	45	7,620	0.8%	791	52
和歌山	13,068	74%	3,073	50	4,116	54%	968	59
那賀	804	5%	693	41	432	6%	372	37
橋本	744	4%	842	41	744	10%	842	54
有田	552	3%	743	41	204	3%	275	33
御坊	324	2%	509	40	528	7%	830	54
田辺	1,848	10%	1,442	43	972	13%	758	51
新宮	348	2%	512	40	624	8%	919	57
出典	平成29年度病床機能報告 ※平成29年6月の月間件数×12				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月 ※平成29年9月の月間件数×12			

資_図表 30-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	304,759		240	(90)	202,302		159	(72)	102,457		81	(23)
和歌山県	2,768	0.9%	287	55	1,709	0.8%	177	53	1,059	1.0%	110	63
和歌山	1,680	61%	395	67	1,119	65%	263	64	561	53%	132	72
那賀	188	7%	162	41	84	5%	72	38	104	10%	90	54
橋本	181	7%	205	46	93	5%	105	43	88	8%	100	58
有田	123	4%	166	42	57	3%	77	39	66	6%	89	54
御坊	153	6%	241	50	89	5%	140	47	64	6%	101	59
田辺	300	11%	234	49	187	11%	146	48	113	11%	88	53
新宮	143	5%	211	47	80	5%	118	44	63	6%	93	55
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月			

資_図表 30-13 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数				小児科専門医数				産婦人科専門医数			
	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	22,522		17.7	(9.2)	13,551		10.7	(4.8)	11,242		8.8	(4.0)
和歌山県	175	0.8%	18.2	50	107	0.8%	11.1	51	105	0.9%	10.9	55
和歌山	108	62%	25.4	58	59	55%	13.9	57	66	63%	15.5	67
那賀	15	9%	12.9	45	17	16%	14.6	58	5	5%	4.3	39
橋本	8	5%	9.1	41	5	5%	5.7	39	9	9%	10.2	53
有田	9	5%	12.1	44	4	4%	5.4	39	6	6%	8.1	48
御坊	11	6%	17.3	50	7	7%	11.0	51	5	5%	7.9	48
田辺	23	13%	17.9	50	11	10%	8.6	46	7	7%	5.5	42
新宮	1	1%	1.5	32	4	4%	5.9	40	7	7%	10.3	54
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 30-14 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科専門医数				眼科専門医数				耳鼻咽喉科専門医数			
	皮膚科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	眼科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	耳鼻咽喉科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,609		4.4	(2.2)	9,812		7.7	(3.3)	7,687		6.0	(2.6)
和歌山県	43	0.8%	4.5	50	80	0.8%	8.3	52	58	0.8%	6.0	50
和歌山	28	65%	6.6	60	54	68%	12.7	65	35	60%	8.2	58
那賀	4	9%	3.4	46	3	4%	2.6	34	9	16%	7.8	56
橋本	2	5%	2.3	40	8	10%	9.1	54	3	5%	3.4	40
有田	1	2%	1.3	36	5	6%	6.7	47	2	3%	2.7	37
御坊	1	2%	1.6	37	1	1%	1.6	31	3	5%	4.7	45
田辺	5	12%	3.9	48	7	9%	5.5	43	5	9%	3.9	42
新宮	2	5%	2.9	43	2	3%	2.9	35	1	2%	1.5	33
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 30-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	9,177		7.2	(3.4)	21,168		16.7	(7.1)	16,463		13.0	(4.6)
和歌山県	67	0.7%	7.0	49	170	0.8%	17.6	51	159	1.0%	16.5	58
和歌山	35	52%	8.2	53	95	56%	22.3	58	96	60%	22.6	71
那賀	5	7%	4.3	42	16	9%	13.8	46	10	6%	8.6	41
橋本	6	9%	6.8	49	8	5%	9.1	39	12	8%	13.6	51
有田	6	9%	8.1	52	8	5%	10.8	42	6	4%	8.1	40
御坊	2	3%	3.1	38	9	5%	14.2	46	10	6%	15.7	56
田辺	4	6%	3.1	38	25	15%	19.5	54	14	9%	10.9	46
新宮	9	13%	13.2	68	9	5%	13.2	45	11	7%	16.2	57
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 30-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,003		4.7	(2.1)	6,763		5.3	(2.4)	5,687		4.5	(3.0)
和歌山県	40	0.7%	4.2	47	69	1.0%	7.2	58	46	0.8%	4.8	51
和歌山	23	58%	5.4	53	42	61%	9.9	69	34	74%	8.0	62
那賀	2	5%	1.7	36	5	7%	4.3	46	1	2%	0.9	38
橋本	3	8%	3.4	44	8	12%	9.1	66	1	2%	1.1	39
有田	2	5%	2.7	40	1	1%	1.3	33	0	0%	0	35
御坊	1	3%	1.6	35	5	7%	7.9	61	3	7%	4.7	51
田辺	6	15%	4.7	50	5	7%	3.9	44	4	9%	3.1	46
新宮	3	8%	4.4	49	3	4%	4.4	46	3	7%	4.4	50
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 30-17 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,107		5.6	(3.3)	1,603		1.3	(1.0)	3,795		3.0	(1.9)
和歌山県	56	0.8%	5.8	51	11	0.7%	1.1	49	34	0.9%	3.5	53
和歌山	44	79%	10.3	64	7	64%	1.6	54	17	50%	4.0	55
那賀	2	4%	1.7	38	0	0%	0	37	4	12%	3.4	52
橋本	3	5%	3.4	43	0	0%	0	37	2	6%	2.3	46
有田	0	0%	0	33	0	0%	0	37	0	0%	0	34
御坊	1	2%	1.6	38	1	9%	1.6	53	1	3%	1.6	43
田辺	4	7%	3.1	42	3	27%	2.3	61	8	24%	6.2	67
新宮	2	4%	2.9	42	0	0%	0	37	2	6%	2.9	50
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

30.和歌山県(2018年版)

資_図表 30-18 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ーション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,141		1.7	(1.3)	2,516		2.0	(1.4)
和歌山県	7	0.3%	0.7	42	37	1.5%	3.8	63
和歌山	5	71%	1.2	46	24	65%	5.6	76
那賀	0	0%	0	37	6	16%	5.2	73
橋本	1	14%	1.1	46	1	3%	1.1	44
有田	0	0%	0	37	1	3%	1.3	46
御坊	0	0%	0	37	0	0%	0	36
田辺	1	14%	0.8	43	2	5%	1.6	47
新宮	0	0%	0	37	3	8%	4.4	67
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月							

資_図表 30-19 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,145,134		901	(287)	919,205		723	(243)	225,929		178	(71)
和歌山県	9,172	0.8%	952	52	7,168	0.8%	744	51	2,004	0.9%	208	54
和歌山	4,206	46%	989	53	3,278	46%	771	52	928	46%	218	56
那賀	840	9%	723	44	601	8%	518	42	239	12%	206	54
橋本	673	7%	762	45	500	7%	566	44	173	9%	196	53
有田	570	6%	767	45	495	7%	666	48	75	4%	101	39
御坊	784	9%	1,232	62	664	9%	1,045	63	120	6%	188	51
田辺	1,391	15%	1,085	56	1,109	15%	865	56	282	14%	220	56
新宮	709	8%	1,043	55	521	7%	766	52	188	9%	277	64
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 30-20 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	薬剤師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	139,385		110	(57)	301,323		237	(98)
和歌山県	1,233	0.9%	128	53	2,288	0.8%	237	50
和歌山	558	45%	131	54	1,327	58%	312	58
那賀	156	13%	135	54	204	9%	176	44
橋本	121	10%	137	55	186	8%	211	47
有田	89	7%	120	52	132	6%	178	44
御坊	111	9%	175	61	136	6%	214	48
田辺	147	12%	114	51	185	8%	144	41
新宮	51	4%	75	44	118	5%	174	44
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月			

資_図表 30-21 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,224		0.9	(0.4)	1,386		0.1	(0.1)	10,994		0.7	(0.2)
和歌山県	173	1.2%	1.2	56	17	1.2%	0.1	54	154	1.4%	1.0	66
和歌山	100	58%	1.6	67	12	71%	0.2	65	74	48%	1.2	73
那賀	22	13%	1.6	66	2	12%	0.1	58	17	11%	1.2	75
橋本	17	10%	1.2	58	0	0%	0	38	14	9%	1.0	65
有田	3	2%	0.2	36	2	12%	0.2	61	8	5%	0.6	48
御坊	10	6%	0.9	51	0	0%	0	38	6	4%	0.6	45
田辺	13	8%	0.6	44	1	6%	0.0	44	23	15%	1.1	68
新宮	8	5%	0.6	43	0	0%	0	38	12	8%	0.8	57
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成30年12月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成30年12月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成30年6月			

資_図表 30-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数				介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,695,162		104	(17)	1,001,413		61	(12)	693,749		43	(16)
和歌山県	15,833	0.9%	106	51	10,046	1.0%	67	55	5,787	0.8%	39	48
和歌山	6,938	44%	111	54	3,450	34%	55	45	3,488	60%	56	58
那賀	1,510	10%	108	52	1,031	10%	74	60	479	8%	34	45
橋本	1,405	9%	101	48	1,107	11%	79	65	298	5%	21	36
有田	1,249	8%	100	48	892	9%	71	58	357	6%	29	41
御坊	1,175	7%	109	53	954	9%	89	72	221	4%	21	36
田辺	2,355	15%	109	53	1,650	16%	76	62	705	12%	33	44
新宮	1,201	8%	84	38	962	10%	67	55	239	4%	17	33
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 30-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数				特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数			
	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
和歌山県	3,476	0.9%	23	51	6,004	1.0%	40	55	566	0.9%	3.8	50
和歌山	1,379	40%	22	49	1,892	32%	30	45	179	32%	2.9	48
那賀	284	8%	20	46	650	11%	46	61	97	17%	6.9	58
橋本	357	10%	26	55	740	12%	53	68	10	2%	0.7	43
有田	292	8%	23	52	600	10%	48	63	0	0%	0	41
御坊	284	8%	26	57	660	11%	61	76	10	2%	0.9	43
田辺	582	17%	27	58	854	14%	39	54	214	38%	9.9	66
新宮	298	9%	21	47	608	10%	42	57	56	10%	3.9	51
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 30-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	有料老人ホーム			軽費ホーム	軽費ホーム			グループホーム	グループホーム		
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
和歌山県	687	0.3%	4.6	41	273	1.2%	1.8	52	1,910	0.9%	12.7	51
和歌山	576	84%	9.2	45	53	19%	0.8	47	986	52%	15.7	56
那賀	44	6%	3.1	39	0	0%	0	43	206	11%	14.7	54
橋本	0	0%	0	37	30	11%	2.2	53	126	7%	9.0	44
有田	0	0%	0	37	82	30%	6.6	74	162	8%	13.0	51
御坊	0	0%	0	37	50	18%	4.6	65	115	6%	10.7	47
田辺	67	10%	3.1	39	0	0%	0	43	198	10%	9.2	44
新宮	0	0%	0	37	58	21%	4.0	62	117	6%	8.1	43
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 30-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	サ高住(全施設)			サ高住 (特定 施設)	サ高住(特定 施設)			サ高住 (非特定 施設)	サ高住(非特定 施設)		
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	231,875		14.2	(7.0)	22,090		1.4	(1.8)	209,785		12.9	(6.8)
和歌山県	2,917	1.3%	19.5	58	149	0.7%	1.0	48	2,768	1.3%	18.5	58
和歌山	1,873	64%	29.9	72	25	17%	0.4	45	1,848	67%	29.5	75
那賀	229	8%	16.4	53	0	0%	0	43	229	8%	16.4	55
橋本	142	5%	10.2	44	0	0%	0	43	142	5%	10.2	46
有田	113	4%	9.0	43	94	63%	7.5	84	19	1%	1.5	33
御坊	56	2%	5.2	37	0	0%	0	43	56	2%	5.2	39
田辺	440	15%	20.3	59	30	20%	1.4	50	410	15%	19.0	59
新宮	64	2%	4.5	36	0	0%	0	43	64	2%	4.5	38
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計 平成30年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 30-26 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サー ビス従事 看護師数	介護施設			看護師数 (施設)	訪問看護			看護師数 (訪問)			
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差				
全国	171,768		10.5	(2.3)	120,155		7.4	(2.0)	51,613		3.2	(1.1)
和歌山県	1,810	1.1%	12.1	57	1,162	1.0%	7.7	52	649	1.3%	4.3	61
和歌山	736	41%	11.7	55	436	38%	7.0	48	300	46%	4.8	65
那賀	206	11%	14.7	68	128	11%	9.1	59	78	12%	5.5	72
橋本	164	9%	11.8	56	112	10%	8.1	54	52	8%	3.7	55
有田	124	7%	9.9	47	88	8%	7.0	48	37	6%	2.9	48
御坊	132	7%	12.3	58	98	8%	9.1	59	34	5%	3.2	50
田辺	311	17%	14.4	67	212	18%	9.8	62	99	15%	4.6	63
新宮	137	8%	9.5	46	88	8%	6.1	44	49	8%	3.4	53
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 30-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)				介護職員 数 (在宅)			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,507,968		92	(12.4)	1,286,309		79	(11.2)	221,659		13.6	(5.6)
和歌山県	17,957	1.2%	120	72	13,626	1.1%	91	61	4,332	2.0%	28.9	77
和歌山	7,479	42%	119	72	5,305	39%	85	55	2,174	50%	34.7	88
那賀	1,851	10%	132	82	1,442	11%	103	72	408	9%	29.2	78
橋本	1,736	10%	125	76	1,429	10%	103	71	307	7%	22.0	65
有田	1,422	8%	114	67	1,223	9%	98	67	199	5%	15.9	54
御坊	1,213	7%	113	66	1,054	8%	98	67	159	4%	14.8	52
田辺	2,667	15%	123	75	2,025	15%	94	63	643	15%	29.7	79
新宮	1,590	9%	111	65	1,148	8%	80	51	442	10%	30.8	81
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 30-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数				訪問介護 利用者数			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,228,040		75	(35)	511,065		31	(13)	1,218,955		75	(26)
和歌山県	12,941	1.1%	86	53	7,155	1.4%	48	63	19,225	1.6%	128	70
和歌山	8,220	64%	131	66	2,443	34%	39	56	9,481	49%	151	79
那賀	1,149	9%	82	52	629	9%	45	60	1,612	8%	115	65
橋本	894	7%	64	47	772	11%	55	68	1,605	8%	115	65
有田	417	3%	33	38	426	6%	34	52	870	5%	70	48
御坊	513	4%	48	42	344	5%	32	50	713	4%	66	47
田辺	1,121	9%	52	43	1,932	27%	89	94	2,864	15%	132	72
新宮	627	5%	44	41	609	9%	42	58	2,080	11%	145	77
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 30-29 総人口の推移と医療需要の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	122,544,102	-4%	13%	5%	18%
和歌山県		1,035,969	963,579	-7%	875,553	-15%	5%	-2%	3%
和歌山	地方都市型	444,978	425,220	-4%	397,480	-11%	8%	0%	8%
那賀	地方都市型	118,696	116,068	-2%	109,563	-8%	10%	5%	16%
橋本	過疎地域型	98,347	88,342	-10%	77,116	-22%	3%	-1%	2%
有田	過疎地域型	83,596	74,255	-11%	65,308	-22%	-1%	-4%	-5%
御坊	過疎地域型	70,535	63,603	-10%	55,608	-21%	-1%	-6%	-8%
田辺	過疎地域型	140,409	128,161	-9%	114,042	-19%	1%	-3%	-2%
新宮	過疎地域型	79,408	67,930	-14%	56,436	-29%	-3%	-8%	-11%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,居間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 ※医療需要は(0~64歳人口)+(65~74歳人口)×3.0+(75歳以上人口)×4.9で算出。								

資_図表 30-30 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,412	6.6	(4.6)	-665	-7%
和歌山県	92	8.9	55	83	8.6	54	-9	-10%
和歌山	49	11.0	60	43	10.1	58	-6	-12%
那賀	7	5.9	47	8	6.9	51	1	14%
橋本	8	8.1	53	5	5.7	48	-3	-38%
有田	6	7.2	50	6	8.1	53	0	0%
御坊	4	5.7	46	4	6.3	49	0	0%
田辺	9	6.4	48	9	7.0	51	0	0%
新宮	9	11.3	61	8	11.8	61	-1	-11%
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資_図表 30-31 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	101,471	80	(19)	4,420	5%
和歌山県	1,084	105	64	1,035	107	65	-49	-5%
和歌山	533	120	72	503	118	70	-30	-6%
那賀	112	94	59	104	90	55	-8	-7%
橋本	94	96	60	90	102	62	-4	-4%
有田	79	95	59	74	100	60	-5	-6%
御坊	66	94	59	66	104	63	0	0%
田辺	121	86	55	126	98	60	5	4%
新宮	79	99	62	72	106	64	-7	-9%
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資_図表 30-32 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2016年			2004→2016増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	304,759	240	(90)	34,388	13%
和歌山県	2,602	251	55	2,768	287	55	166	6%
和歌山	1,523	342	66	1,680	395	67	157	10%
那賀	183	154	43	188	162	41	5	3%
橋本	182	185	47	181	205	46	-1	-1%
有田	138	165	44	123	166	42	-15	-11%
御坊	148	210	50	153	241	50	5	3%
田辺	263	187	47	300	234	49	37	14%
新宮	165	208	50	143	211	47	-22	-13%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2016年>平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月							

資_図表 30-33 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,653,234	130	(54)	-159,320	-9%
和歌山県	16,846	163	54	14,542	151	54	-2,304	-14%
和歌山	8,312	187	58	6,970	164	56	-1,342	-16%
那賀	1,312	111	44	1,335	115	47	23	2%
橋本	1,104	112	45	965	109	46	-139	-13%
有田	1,137	136	49	1,000	135	51	-137	-12%
御坊	1,272	180	57	1,006	158	55	-266	-21%
田辺	2,074	148	51	1,884	147	53	-190	-9%
新宮	1,635	206	61	1,382	203	64	-253	-15%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資_図表 30-34 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	980,151	77	(26)	-88,670	-8%
和歌山県	10,837	105	57	9,487	98	58	-1,350	-12%
和歌山	5,563	125	65	4,958	117	65	-605	-11%
那賀	767	65	43	763	66	46	-4	-1%
橋本	823	84	50	703	80	51	-120	-15%
有田	614	73	46	445	60	43	-169	-28%
御坊	987	140	70	836	131	71	-151	-15%
田辺	1,185	84	50	1,097	86	53	-88	-7%
新宮	898	113	60	685	101	59	-213	-24%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資_図表 30-35 療養病床数(病院+診療所)の推移

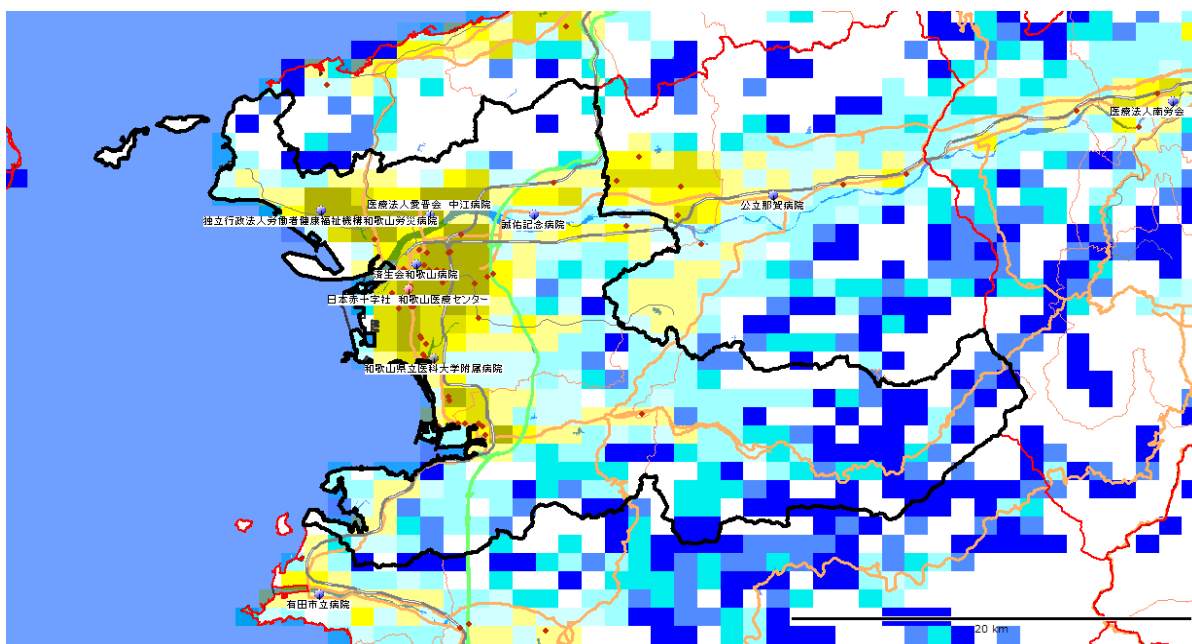
二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	334,297	20	(11)	-39,526	-11%
和歌山県	3,108	26	46	2,909	19	49	-199	-6%
和歌山	1,378	29	48	1,179	19	49	-199	-14%
那賀	256	24	45	347	25	54	91	36%
橋本	157	14	40	138	10	41	-19	-12%
有田	219	20	43	251	20	50	32	15%
御坊	123	13	39	51	5	36	-72	-59%
田辺	577	32	50	585	27	56	8	1%
新宮	398	31	50	358	25	54	-40	-10%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

30-1. わかやま 和歌山医療圏

構成市区町村 [和歌山市](#) [海南市](#) [紀美野町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(和歌山医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 和歌山(和歌山市)は、総人口約425千人(2015年)、面積438km²、人口密度は970人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 和歌山の総人口は2025年に397千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に349千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の63千人が、2025年にかけて78千人へと増加し(2015年比+24%)、2040年には70千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 和歌山の一人当たり医療費(国保)は365千円(偏差値54)、介護給付費は307千円(偏差値66)であり、医療費はやや高く、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 和歌山の一人当たり急性期医療密度指数は1.44、一人当たり慢性期医療密度指数は0.79で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が67(病院医師数64、診療所医師数72)と、総医師数、診療所医師数ともに非常に多く、病院医師数は多い。総看護師数の偏差値は53とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は65で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は50と全国平均レベルである。和歌山には、年間全身麻酔件数が2000例以上の和歌山医療センター(Ⅱ群・救命)、和歌山県立医科大学附属病院(Ⅰ群・救命)、1000例以上の和歌山労災病院(Ⅲ群)、500例以上の済生会和歌山病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値54とやや多く、回復期病床数は偏差値57と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は70で診療所数は非常に多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 和歌山の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6,938人(75歳以上1,000人当たりの偏差値54)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が3,450床(偏差値45)、高齢者住宅等が3,488床(偏差値58)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5,305人(75歳以上1,000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設49、特別養護老人ホーム45、介護療養型医療施設48、有料老人ホーム45、軽費ホーム47、グループホーム56、サ高住72である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値67と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値65と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値73と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、2,174人(75歳以上1,000人当たりの偏差値88)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-27%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(和歌山医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

和歌山医療圏の総人口は、2005年444,978人が、2015年に425,220人と4%減少し、2025年の人口が397,480人と予測され、2005年→2025年の間に11%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に8%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

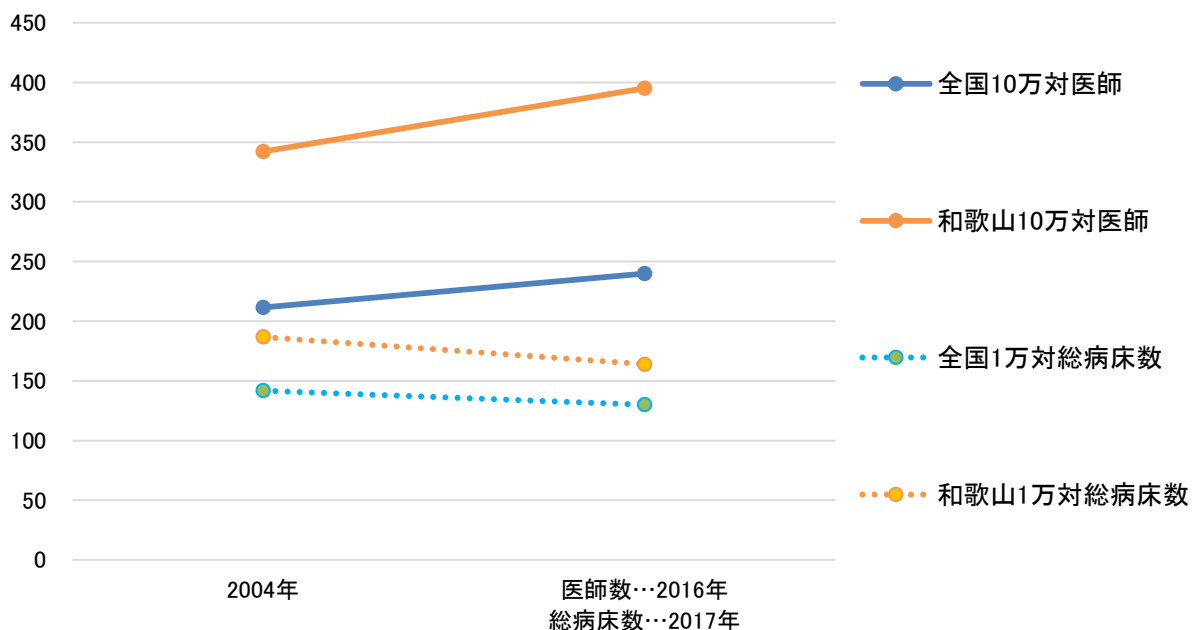
2004年の病院数が49(人口10万人当たり11病院(全国平均7.1)偏差値60)であったが、2017年に43(人口10万人当たり10.1病院(全国平均6.6)偏差値58)となり、13年間で6病院が減少した。

2004年の診療所数が533(人口10万人当たり120診療所(全国平均76)偏差値72)であったが、2017年に503(人口10万人当たり118診療所(全国平均80)偏差値70)と、30診療所が減少した。

2004年の総病床数が8,312床(人口1万人当たり187(全国平均142)偏差値58)であったが、2017年に6,970床(人口1万人当たり164(全国平均130)偏差値56)と、1,342床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

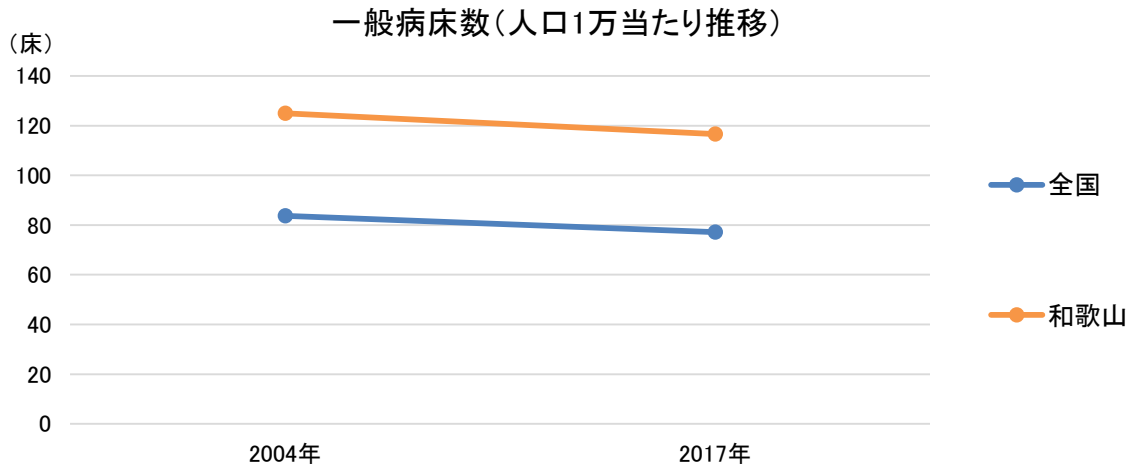
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,523人(人口10万人当たり342人(全国平均212人)偏差値66)であったが、2016年に1,680人(人口10万人当たり395人(全国平均240人)偏差値67)と、157人の増加、率にして10%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



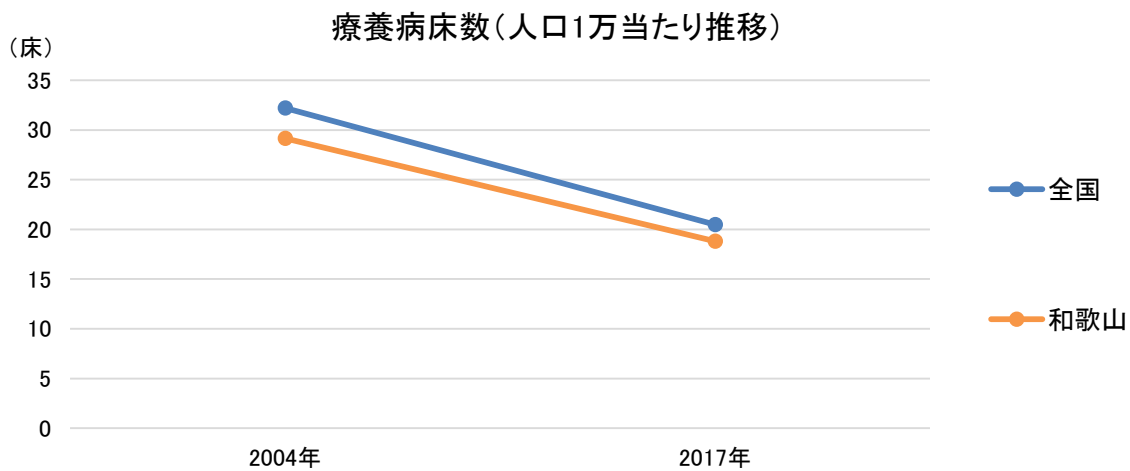
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が5,563床(人口1万人当たり125(全国平均84)偏差値65)であったが、2017年に4,958床(人口1万人当たり117(全国平均77)偏差値65)と、605床の減少、率にして11%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



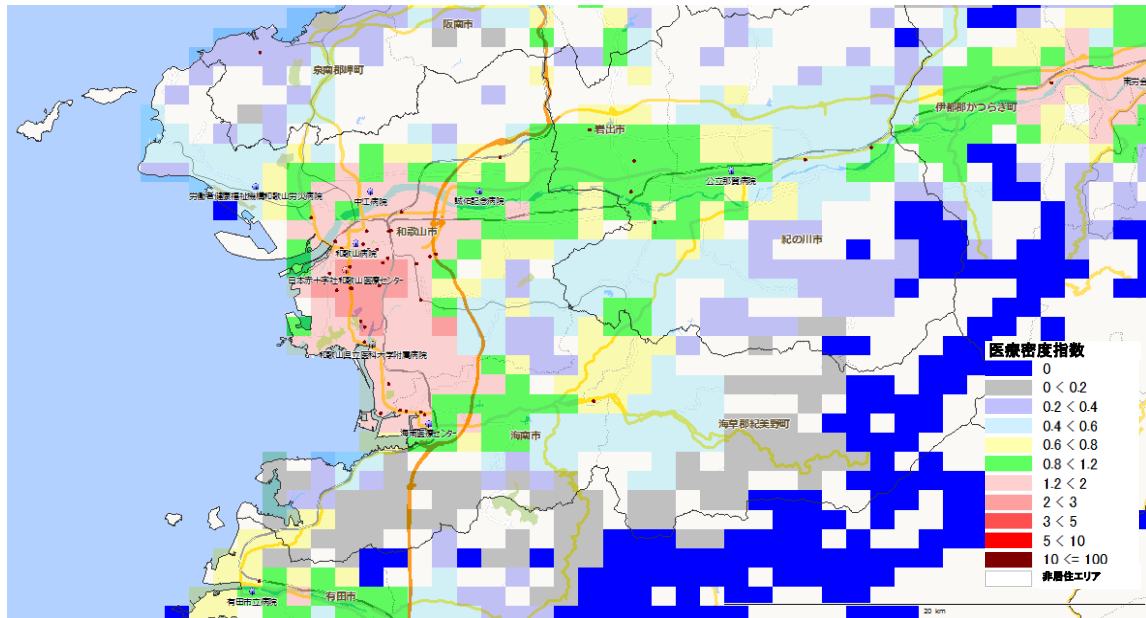
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,378床(75歳以上1,000人当たり29(全国平均32)偏差値48)であったが、2017年に1,179床(75歳以上1,000人当たり19(全国平均20)偏差値49)と、199床の減少、率にして14%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



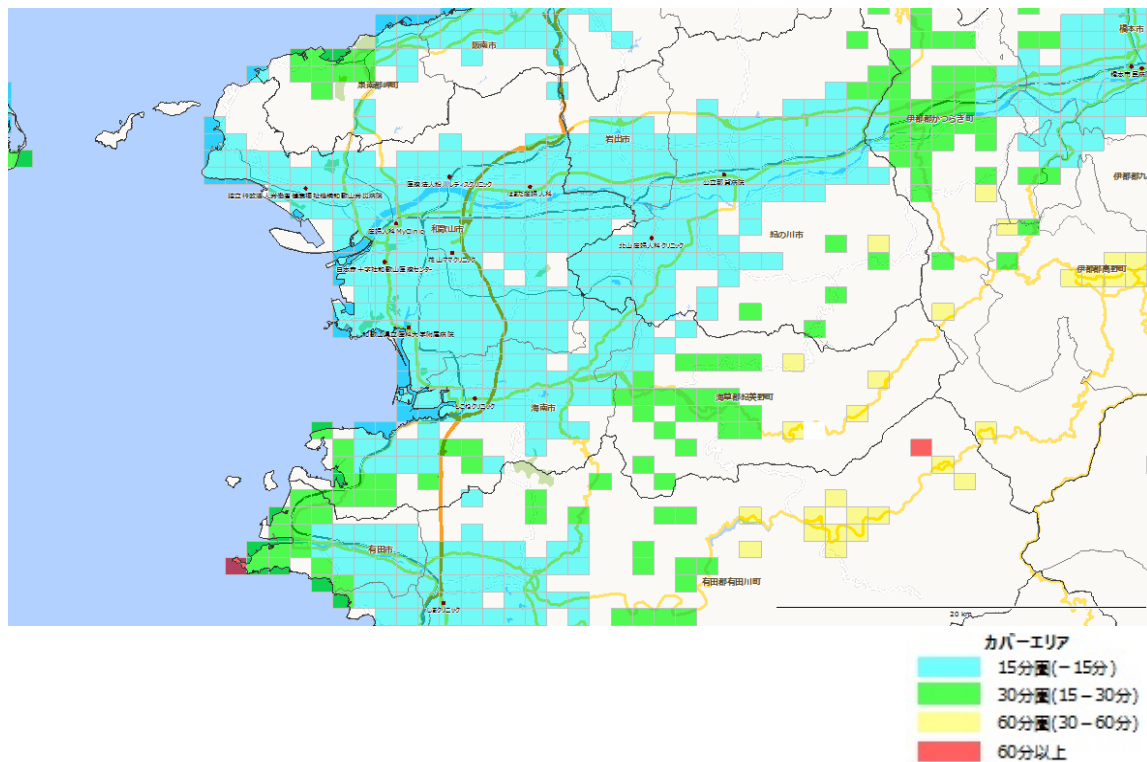
(和歌山医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表30-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表30-1-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

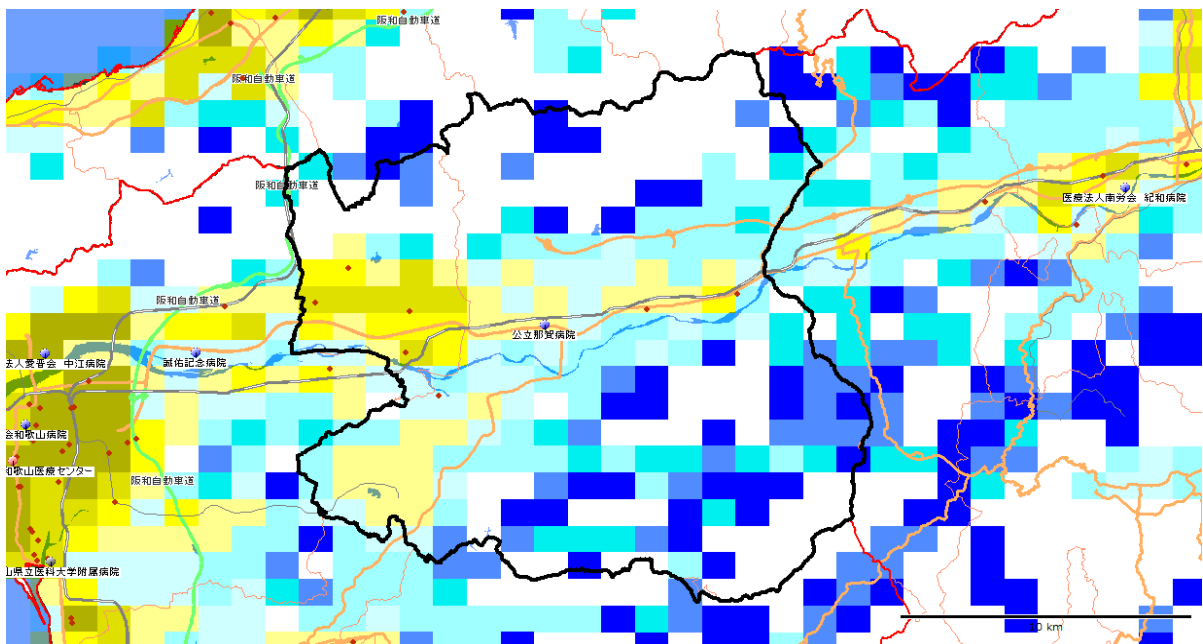


30-2. な が 那賀医療圏

構成市区町村 [紀の川市](#) [岩出市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(那賀医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 那賀(紀の川市)は、総人口約116千人(2015年)、面積267km²、人口密度は435人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 那賀の総人口は2025年に110千人へと減少し(2015年比-5%)、2040年に96千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の14千人が、2025年にかけて19千人へと増加し(2015年比+36%)、2040年には21千人へと増加する(2025年比+11%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 那賀の一人当たり医療費(国保)は348千円(偏差値50)、介護給付費は265千円(偏差値54)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 那賀の一人当たり急性期医療密度指数は0.86、一人当たり慢性期医療密度指数は0.46で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が41(病院医師数38、診療所医師数54)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は44と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は44で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。那賀には、年間全身麻酔件数が500例以上の公立那賀病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値54とやや多く、回復期病床数は偏差値54とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は55で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 那賀の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,510人(75歳以上1,000人当たりの偏差値52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1,031床(偏差値60)、高齢者住宅等が479床(偏差値45)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,442人(75歳以上1,000人当たりの偏差値72)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設46、特別養護老人ホーム61、介護療養型医療施設58、有料老人ホーム39、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム54、サ高住53である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値66と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値58と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値75と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、408人(75歳以上1,000人当たりの偏差値78)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-23%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(那賀医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

那賀医療圏の総人口は、2005年118,696人が、2015年に116,068人と2%減少し、2025年の人口が109,563人と予測され、2005年→2025年の間に8%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に10%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

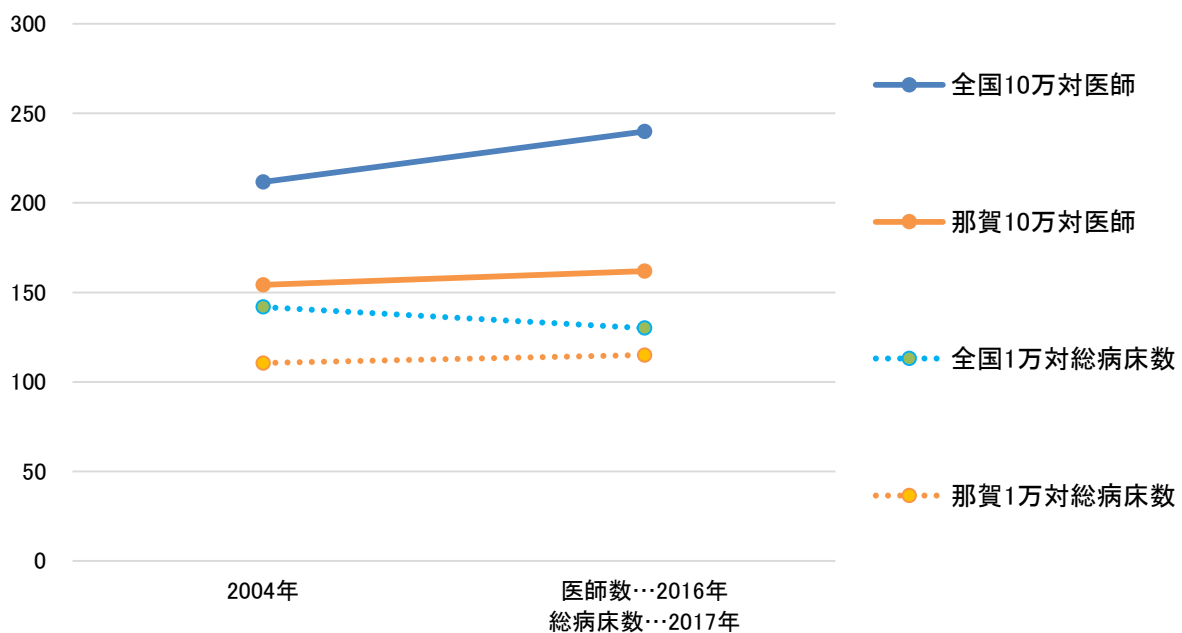
2004年の病院数が7(人口10万人当たり5.9病院(全国平均7.1)偏差値47)であったが、2017年に8(人口10万人当たり6.9病院(全国平均6.6)偏差値51)となり、13年間で1病院が増加した。

2004年の診療所数が112(人口10万人当たり94診療所(全国平均76)偏差値59)であったが、2017年に104(人口10万人当たり90診療所(全国平均80)偏差値55)と、8診療所が減少した。

2004年の総病床数が1,312床(人口1万人当たり111(全国平均142)偏差値44)であったが、2017年に1,335床(人口1万人当たり115(全国平均130)偏差値47)と、23床の増加、率にして2%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。

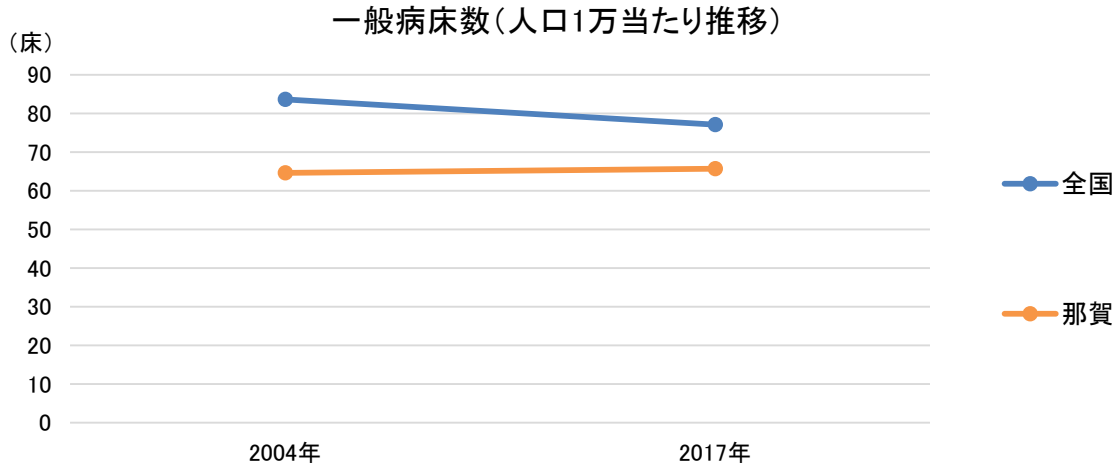
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が183人(人口10万人当たり154人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2016年に188人(人口10万人当たり162人(全国平均240人)偏差値41)と、5人の増加、率にして3%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



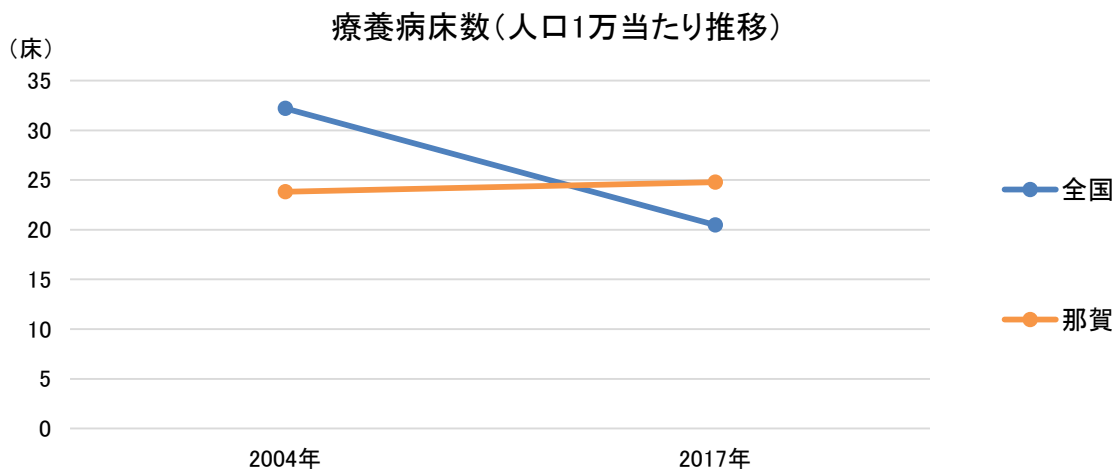
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が767床(人口1万人当たり65(全国平均84)偏差値43)であったが、2017年に763床(人口1万人当たり66(全国平均77)偏差値46)と、4床の減少、率にして1%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



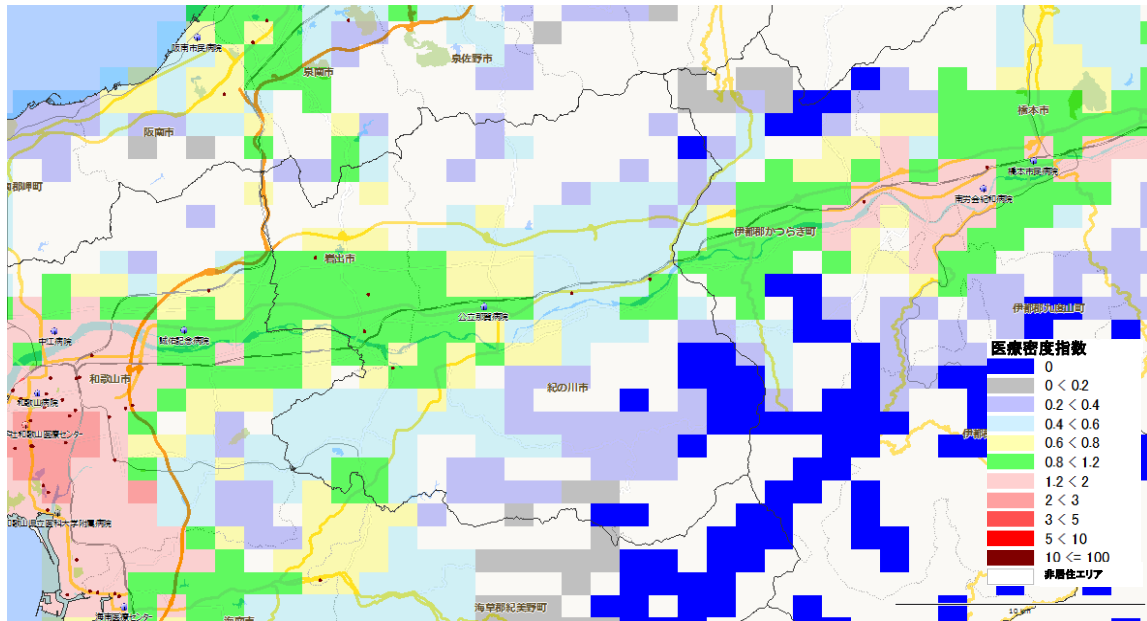
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が256床(75歳以上1,000人当たり24(全国平均32)偏差値45)であったが、2017年に347床(75歳以上1,000人当たり25(全国平均20)偏差値54)と、91床の増加、率にして36%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



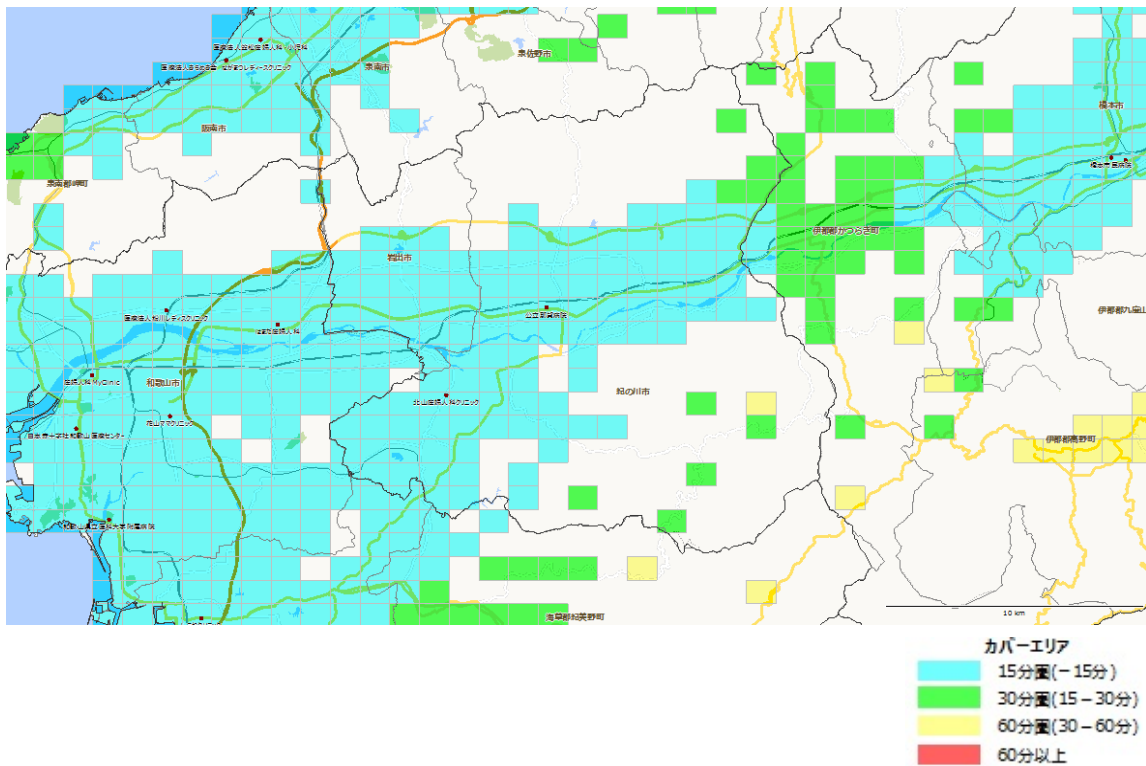
(那賀医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表30-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表30-2-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

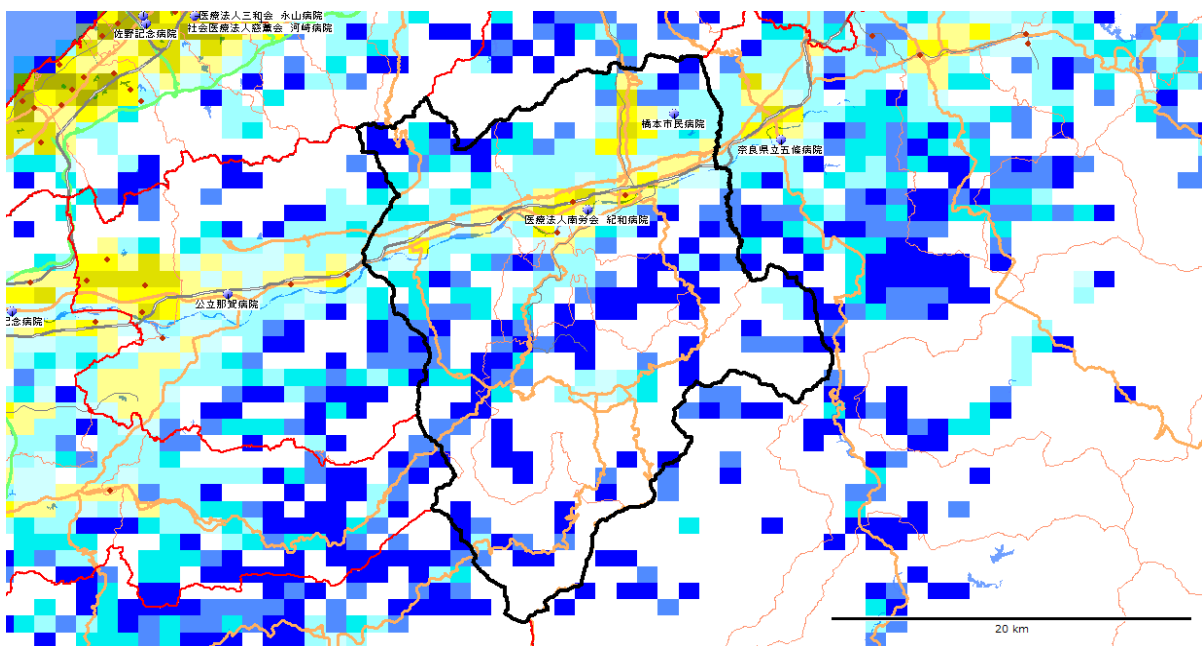


30-3. はしもと 橋本医療圏

構成市区町村 [橋本市](#) [かつらぎ町](#) [九度山町](#) [高野町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。
 赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は
 中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
 少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS
 Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口 (1平方キロ)



DPC病院



(橋本医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 橋本(橋本市)は、総人口約88千人(2015年)、面積463km²、人口密度は191人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 橋本の総人口は2025年に77千人へと減少し(2015年比-13%)、2040年に60千人へと減少する(2025年比-22%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の14千人が、2025年にかけて17千人へと増加し(2015年比+21%)、2040年には17千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 橋本の一人当たり医療費(国保)は372千円(偏差値56)、介護給付費は300千円(偏差値64)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 橋本の一人当たり急性期医療密度指数は0.93、一人当たり慢性期医療密度指数は0.89で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が46(病院医師数43、診療所医師数58)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多く、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は45とやや少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は52で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。橋本には、年間全身麻酔件数が500例以上の橋本市民病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値55とやや多く、回復期病床数は偏差値57と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は44で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は62で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 橋本の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,405人(75歳以上1,000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1,107床(偏差値65)、高齢者住宅等が298床(偏差値36)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,429人(75歳以上1,000人当たりの偏差値71)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設55、特別養護老人ホーム68、介護療養型医療施設43、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム53、グループホーム44、サ高住44である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値58と多く、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値65と多い。介護職員(在宅)の合計は、307人(75歳以上1,000人当たりの偏差値65)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-10%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(橋本医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

橋本医療圏の総人口は、2005年98,347人が、2015年に88,342人と10%減少し、2025年の人口が77,116人と予測され、2005年→2025年の間に22%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

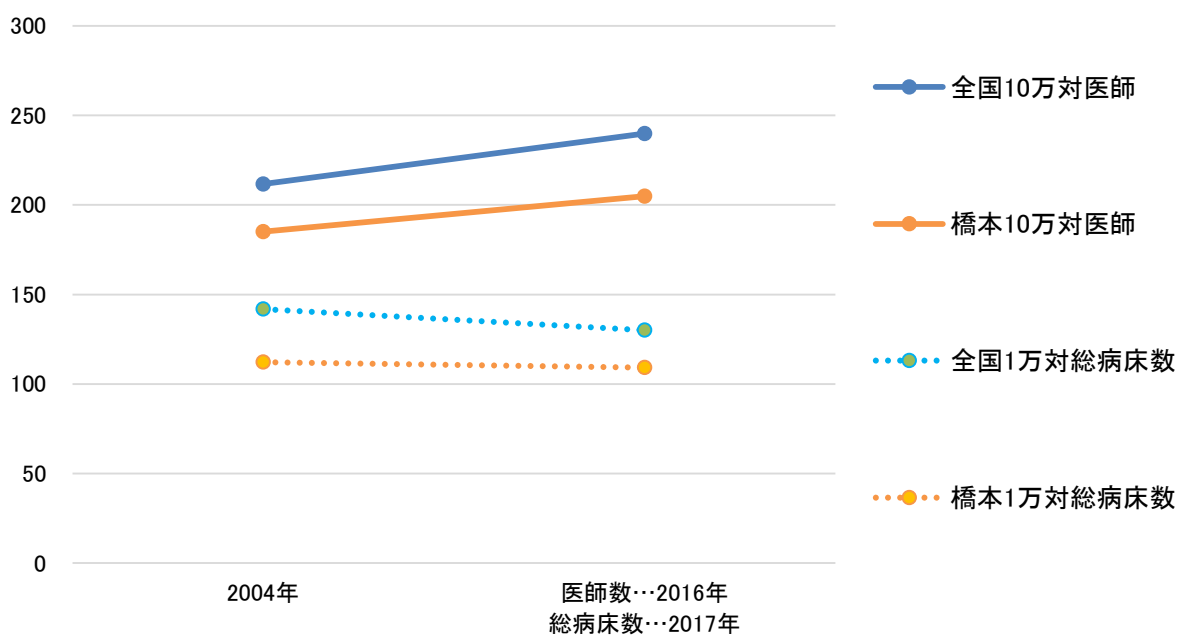
2004年の病院数が8(人口10万人当たり8.1病院(全国平均7.1)偏差値53)であったが、2017年に5(人口10万人当たり5.7病院(全国平均6.6)偏差値48)となり、13年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が94(人口10万人当たり96診療所(全国平均76)偏差値60)であったが、2017年に90(人口10万人当たり102診療所(全国平均80)偏差値62)と、4診療所が減少した。

2004年の総病床数が1,104床(人口1万人当たり112(全国平均142)偏差値45)であったが、2017年に965床(人口1万人当たり109(全国平均130)偏差値46)と、139床の減少、率にして13%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

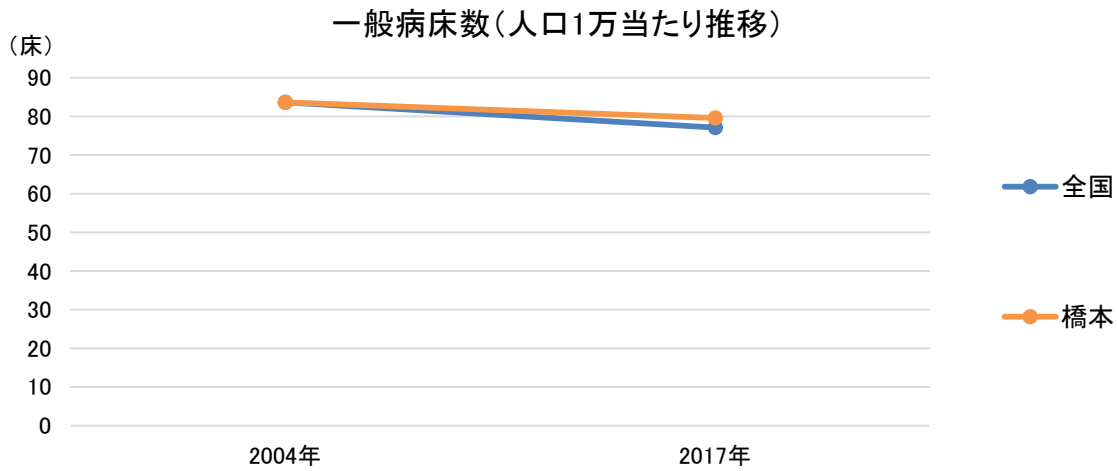
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が182人(人口10万人当たり185人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2016年に181人(人口10万人当たり205人(全国平均240人)偏差値46)と、1人の減少、率にして1%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



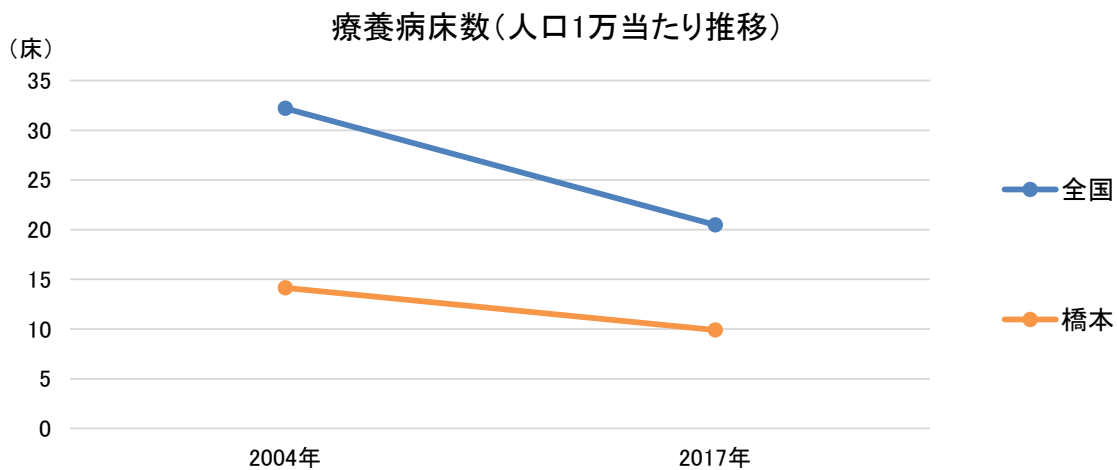
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が823床(人口1万人当たり84(全国平均84)偏差値50)であったが、2017年に703床(人口1万人当たり80(全国平均77)偏差値51)と、120床の減少、率にして15%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



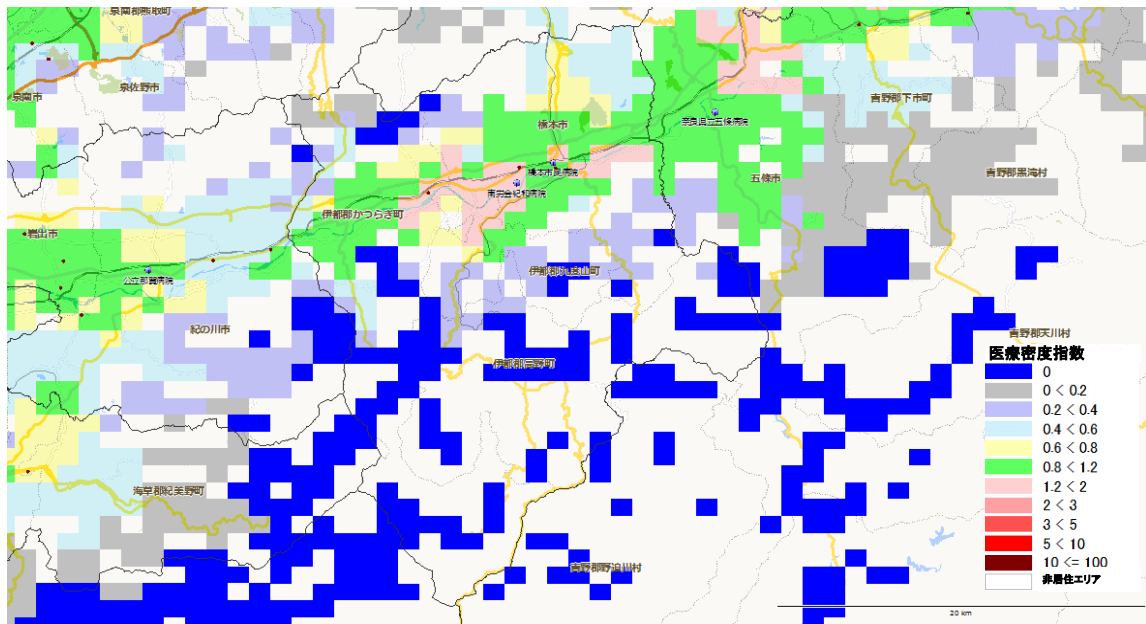
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が157床(75歳以上1,000人当たり14(全国平均32)偏差値40)であったが、2017年に138床(75歳以上1,000人当たり10(全国平均20)偏差値41)と、19床の減少、率にして12%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



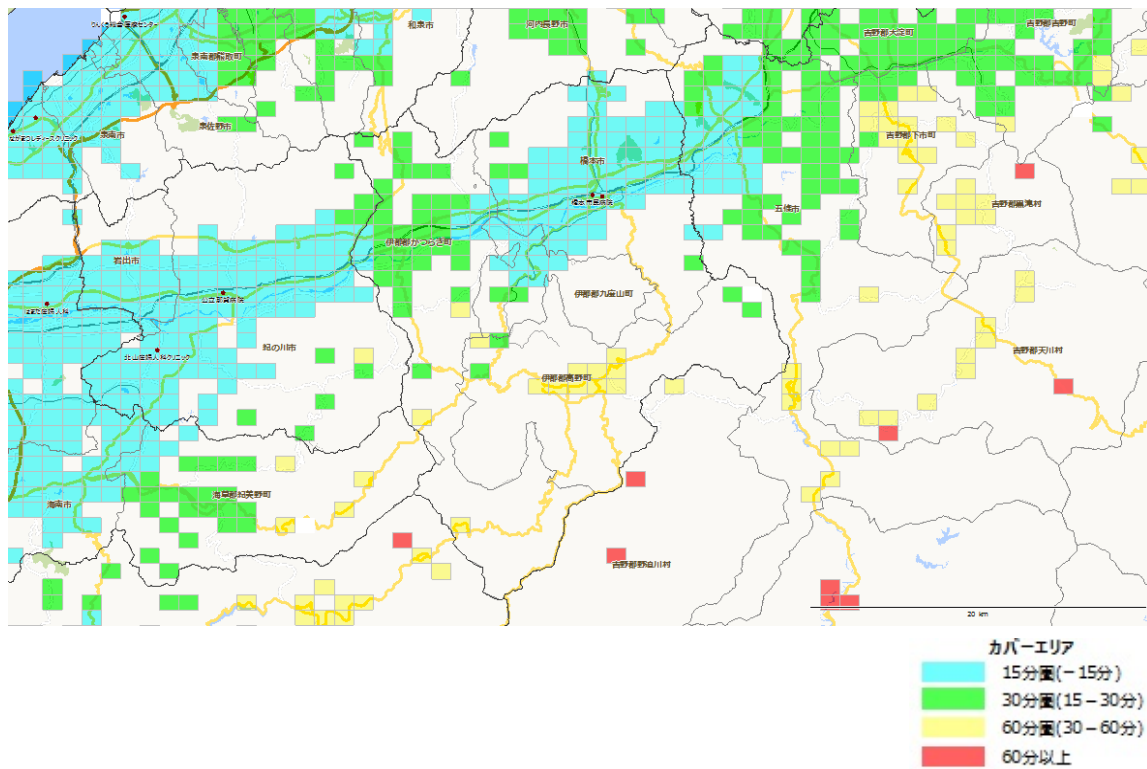
(橋本医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表30-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表30-3-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

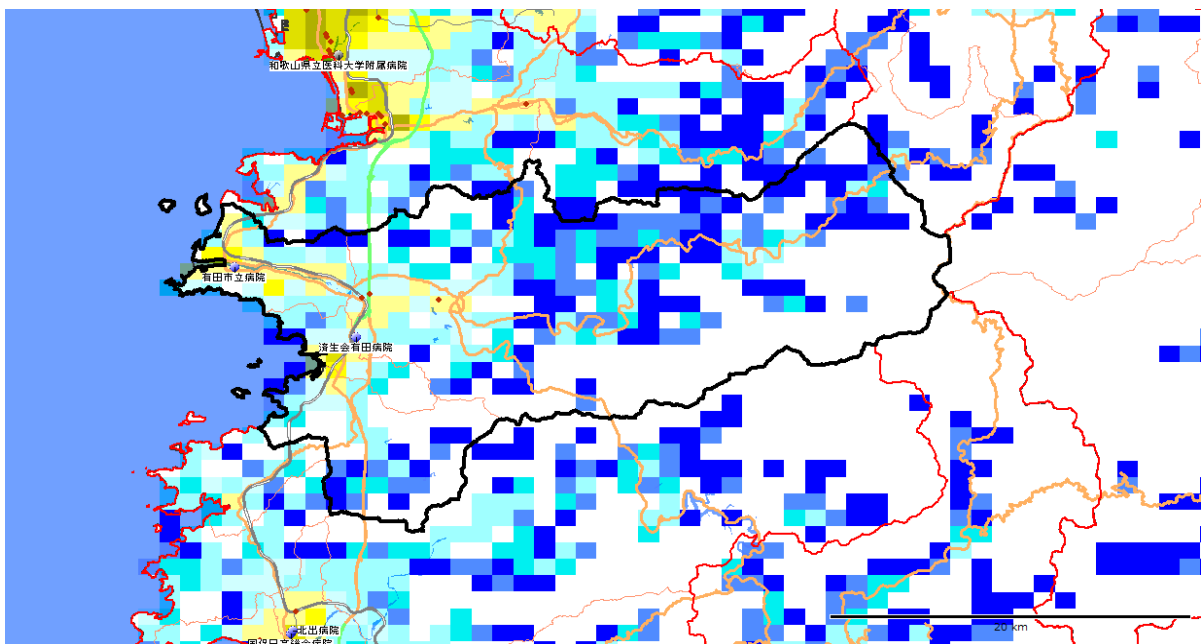


30-4. あ り た 有田医療圏

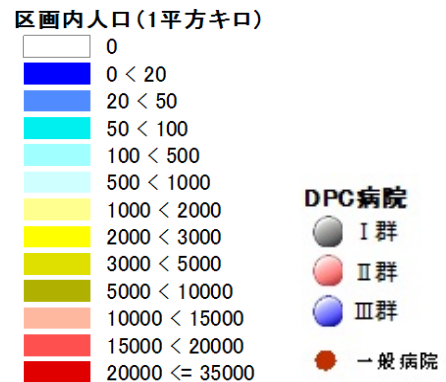
構成市区町村 [有田市](#) [湯浅町](#) [広川町](#) [有田川町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。
 赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は
 中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
 少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS
 Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ



(有田医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 有田(有田市)は、総人口約74千人(2015年)、面積475km²、人口密度は156人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 有田の総人口は2025年に65千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に52千人へと減少する(2025年比-20%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の13千人が、2025年にかけて14千人へと増加し(2015年比+8%)、2040年には13千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 有田の一人当たり医療費(国保)は331千円(偏差値46)、介護給付費は287千円(偏差値60)であり、医療費はやや低いが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 有田の一人当たり急性期医療密度指数は0.58、一人当たり慢性期医療密度指数は0.34で、急性期の医療も慢性期の医療もかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が42(病院医師数39、診療所医師数54)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は45とやや少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は42で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。有田には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値52と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値56と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は57で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は60で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 有田の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,249人(75歳以上1,000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が892床(偏差値58)、高齢者住宅等が357床(偏差値41)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,223人(75歳以上1,000人当たりの偏差値67)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設52、特別養護老人ホーム63、介護療養型医療施設なし(偏差値41)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム74、グループホーム51、サ高住43である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値36と少なく、在宅療養支援病院は偏差値61と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値48と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、199人(75歳以上1,000人当たりの偏差値54)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+5%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(有田医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

有田医療圏の総人口は、2005年83,596人が、2015年に74,255人と11%減少し、2025年の人口が65,308人と予測され、2005年→2025年の間に22%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に1%減少し、2015年から2025年にかけて4%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

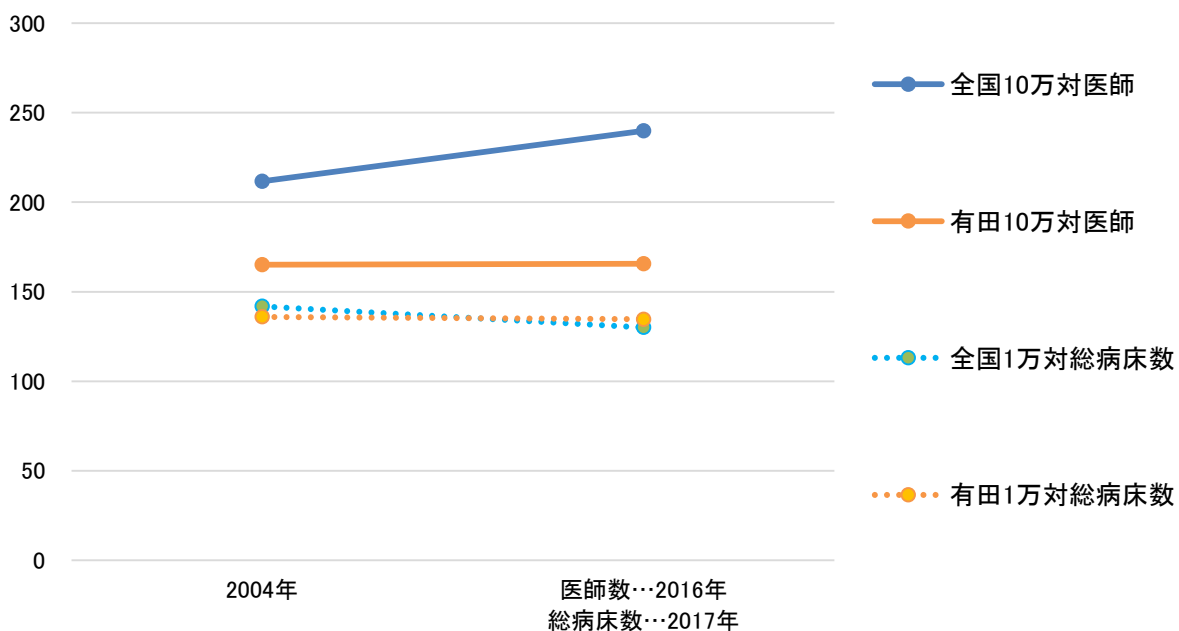
2004年の病院数が6(人口10万人当たり7.2病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2017年に6(人口10万人当たり8.1病院(全国平均6.6)偏差値53)となり、13年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が79(人口10万人当たり95診療所(全国平均76)偏差値59)であったが、2017年に74(人口10万人当たり100診療所(全国平均80)偏差値60)と、5診療所が減少した。

2004年の総病床数が1,137床(人口1万人当たり136(全国平均142)偏差値49)であったが、2017年に1,000床(人口1万人当たり135(全国平均130)偏差値51)と、137床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

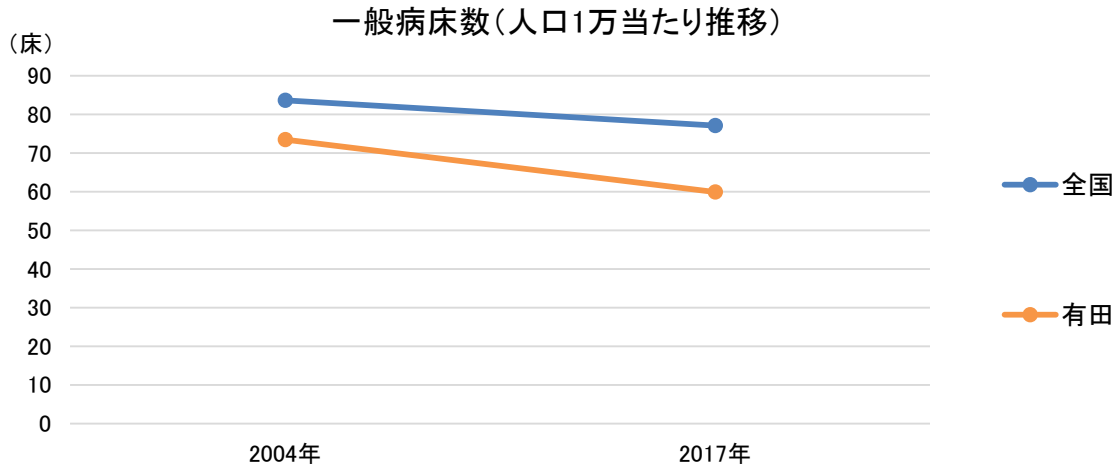
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が138人(人口10万人当たり165人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2016年に123人(人口10万人当たり166人(全国平均240人)偏差値42)と、15人の減少、率にして11%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



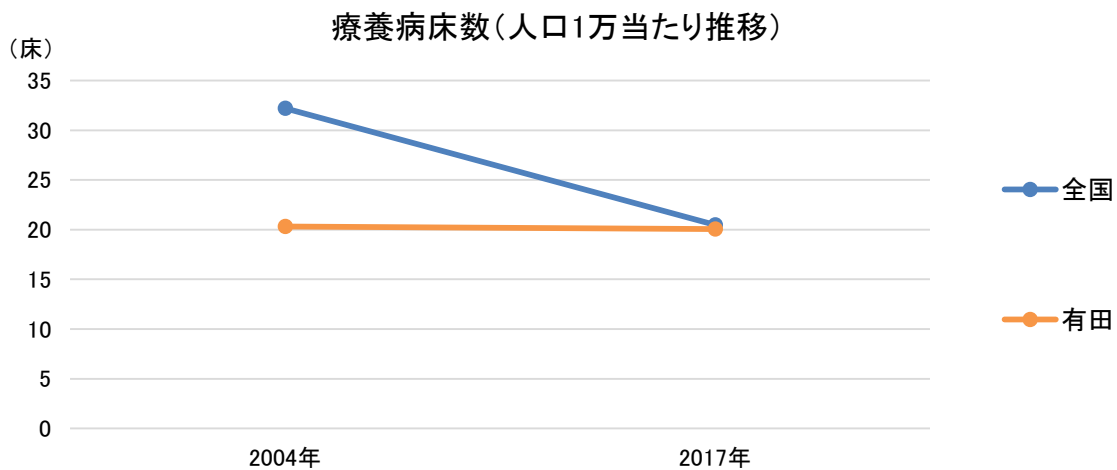
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が614床(人口1万人当たり73(全国平均84)偏差値46)であったが、2017年に445床(人口1万人当たり60(全国平均77)偏差値43)と、169床の減少、率にして28%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



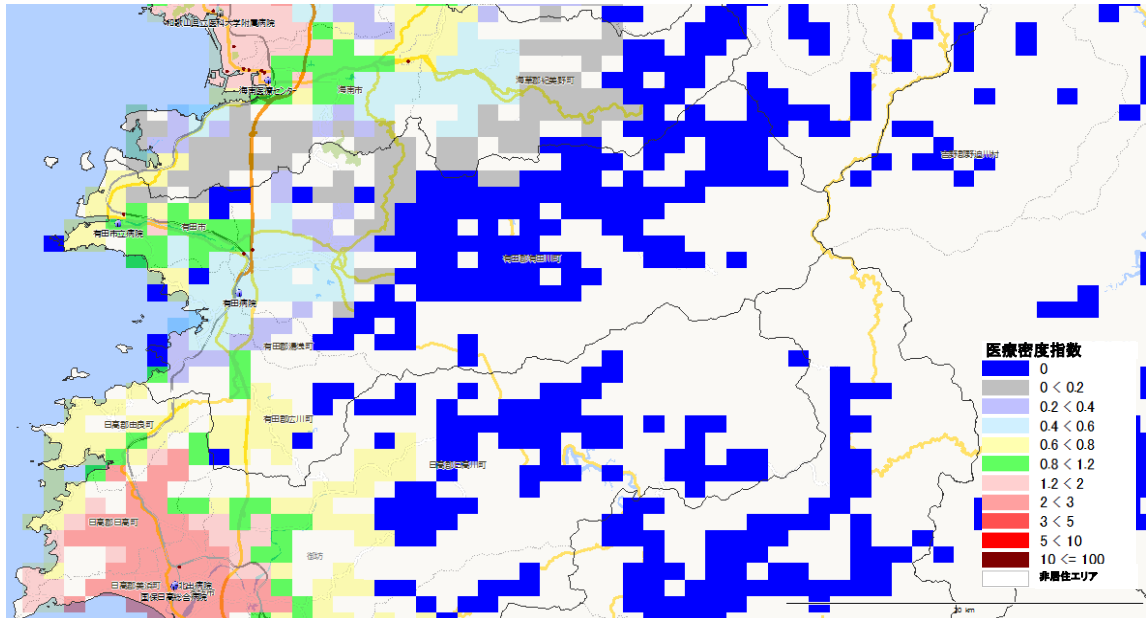
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が219床(75歳以上1,000人当たり20(全国平均32)偏差値43)であったが、2017年に251床(75歳以上1,000人当たり20(全国平均20)偏差値50)と、32床の増加、率にして15%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



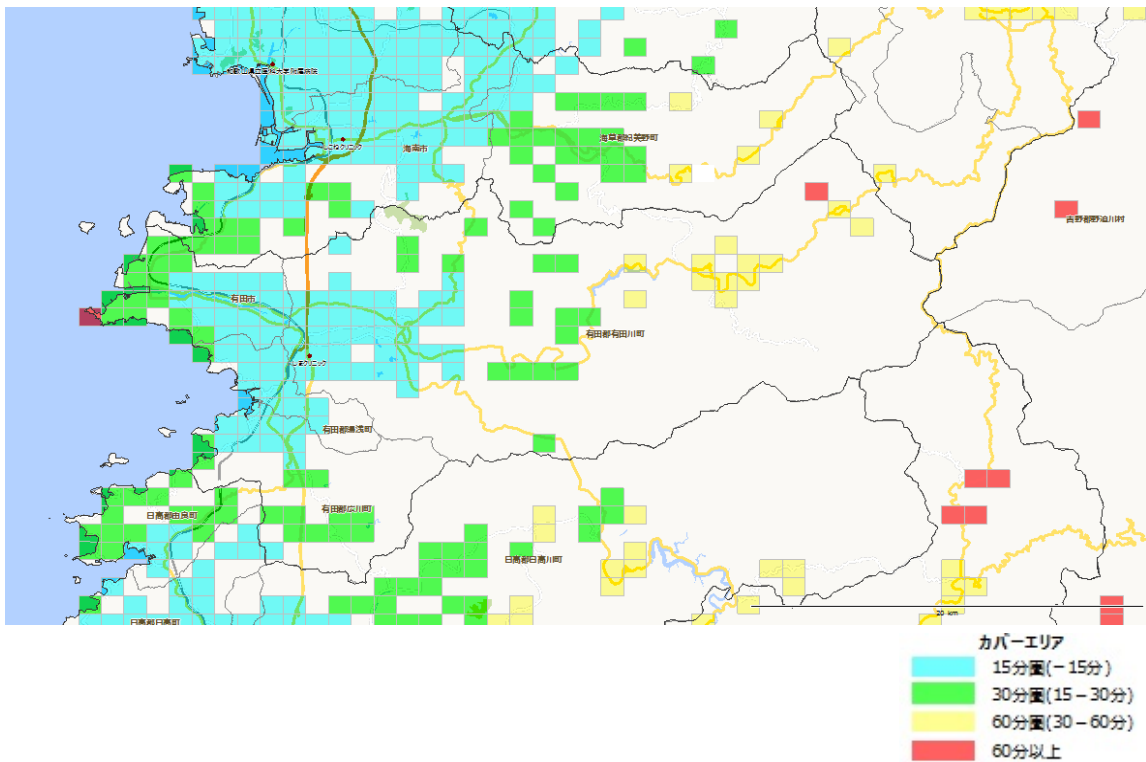
(有田医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表30-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表30-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

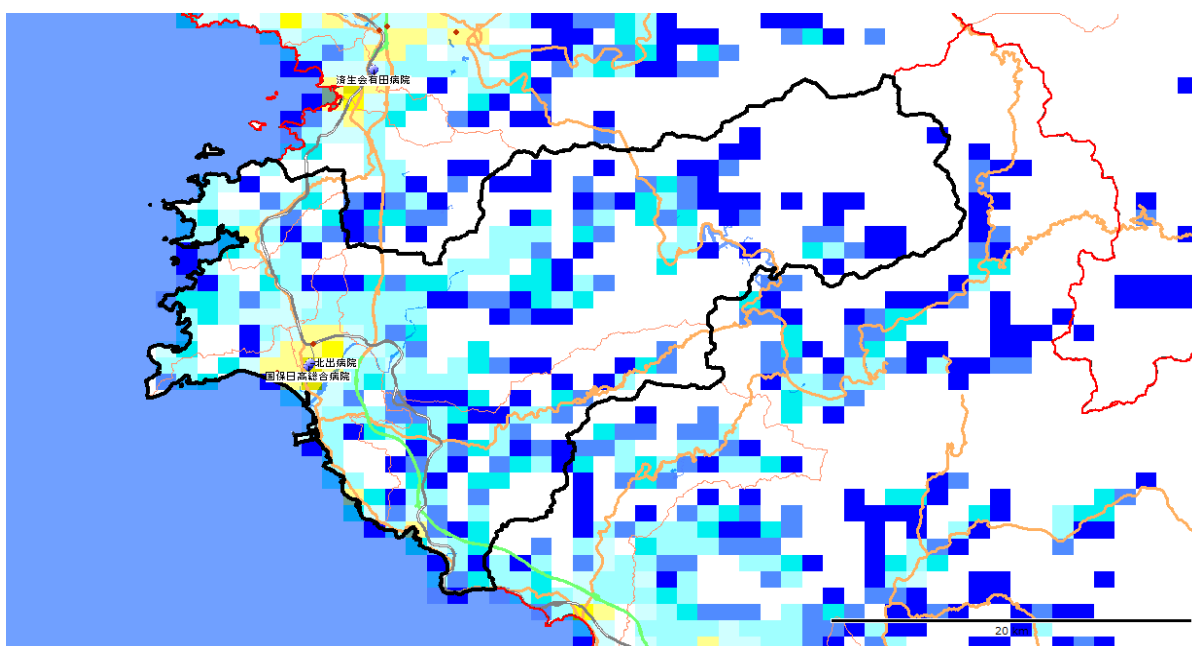


30-5. ごぼう 御坊医療圏

構成市区町村 [御坊市](#) [美浜町](#) [且高町](#) [由良町](#)
[印南町](#) [日高川町](#)

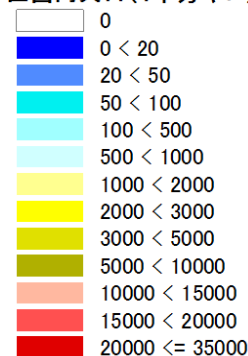
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。
 赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は
 中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
 少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS
 Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(御坊医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 御坊(御坊市)は、総人口約64千人(2015年)、面積579km²、人口密度は110人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 御坊の総人口は2025年に56千人へと減少し(2015年比-13%)、2040年に45千人へと減少する(2025年比-20%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の11千人が、2025年にかけて11千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には11千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 御坊の一人当たり医療費(国保)は353千円(偏差値51)、介護給付費は293千円(偏差値62)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 御坊の一人当たり急性期医療密度指数は1.73、一人当たり慢性期医療密度指数は1.77で、急性期の医療も慢性期の医療もかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が50(病院医師数47、診療所医師数59)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は62と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は75で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は40と少ない。御坊には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は41と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値61と多く、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は63で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 御坊の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,175人(75歳以上1,000人当たりの偏差値53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が954床(偏差値72)、高齢者住宅等が221床(偏差値36)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,054人(75歳以上1,000人当たりの偏差値67)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設57、特別養護老人ホーム76、介護療養型医療施設43、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム65、グループホーム47、サ高住37である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値45とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、159人(75歳以上1,000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+13%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

(御坊医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

御坊医療圏の総人口は、2005年70,535人が、2015年に63,603人と10%減少し、2025年の人口が55,608人と予測され、2005年→2025年の間に21%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に1%減少し、2015年から2025年にかけて6%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

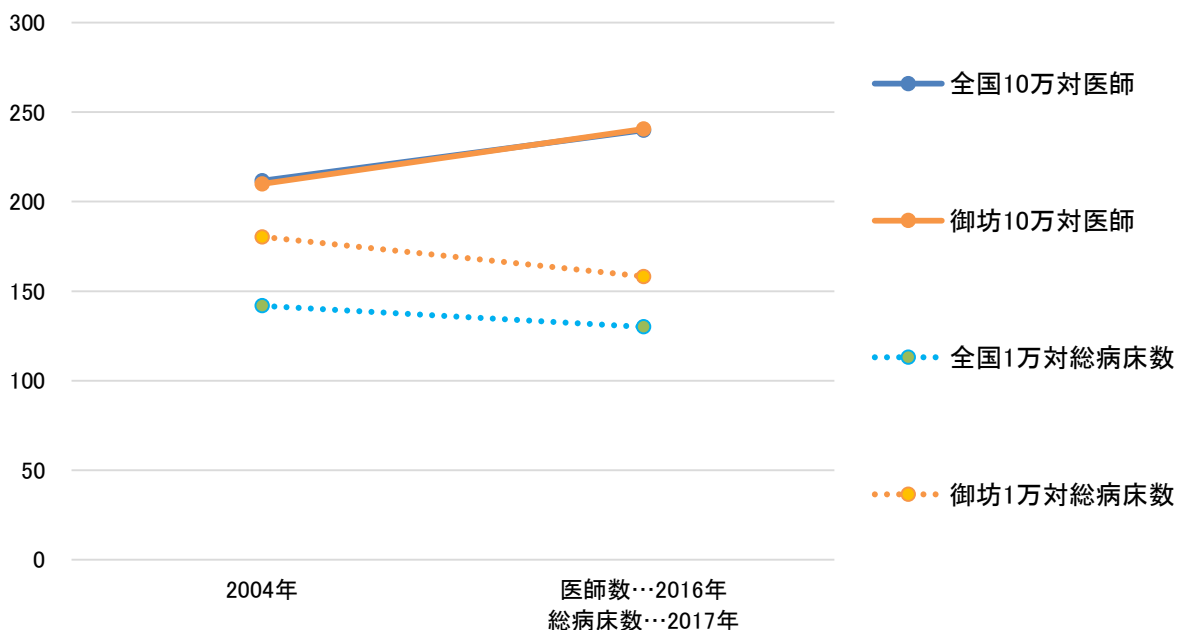
2004年の病院数が4(人口10万人当たり5.7病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2017年に4(人口10万人当たり6.3病院(全国平均6.6)偏差値49)となり、13年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が66(人口10万人当たり94診療所(全国平均76)偏差値59)であったが、2017年に66(人口10万人当たり104診療所(全国平均80)偏差値63)と、増減がなかった。

2004年の総病床数が1,272床(人口1万人当たり180(全国平均142)偏差値57)であったが、2017年に1,006床(人口1万人当たり158(全国平均130)偏差値55)と、266床の減少、率にして21%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

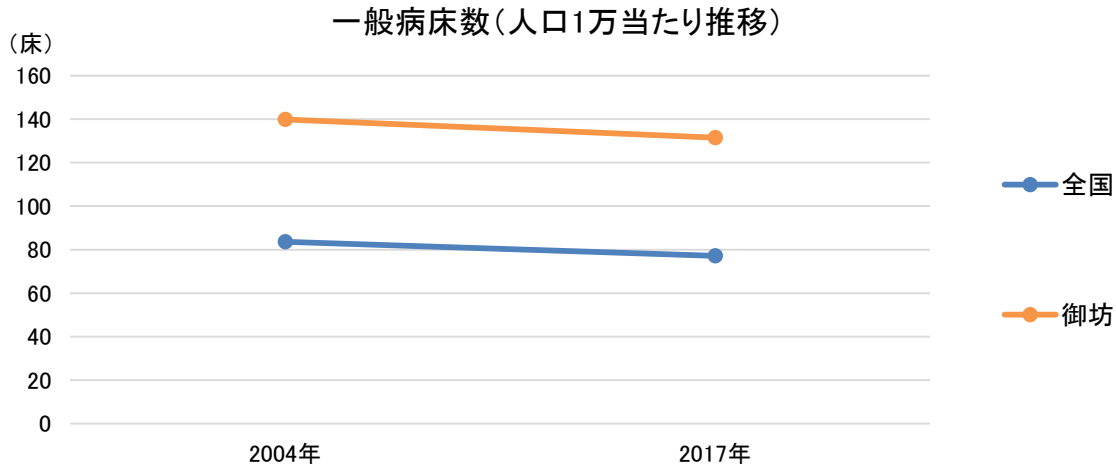
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が148人(人口10万人当たり210人(全国平均212人)偏差値50)であったが、2016年に153人(人口10万人当たり241人(全国平均240人)偏差値50)と、5人の増加、率にして3%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



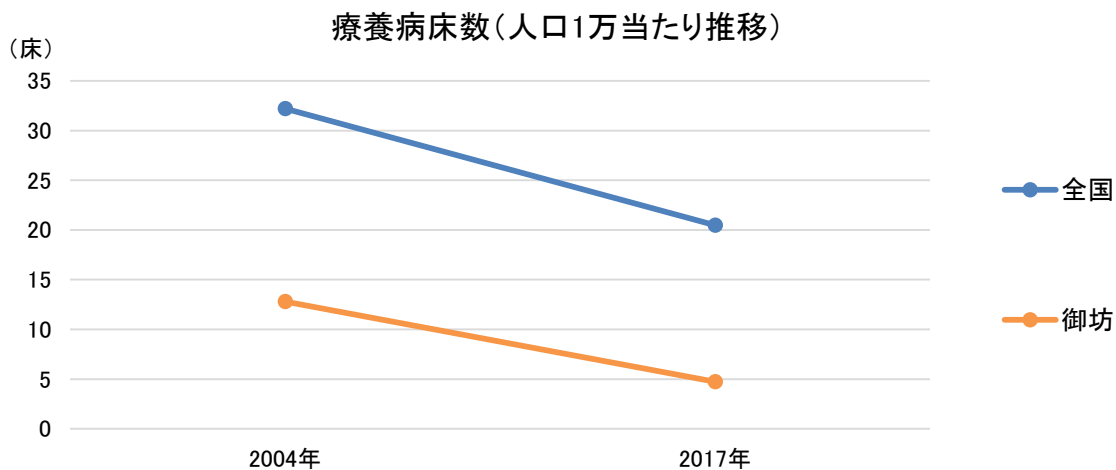
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が987床(人口1万人当たり140(全国平均84)偏差値70)であったが、2017年に836床(人口1万人当たり131(全国平均77)偏差値71)と、151床の減少、率にして15%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



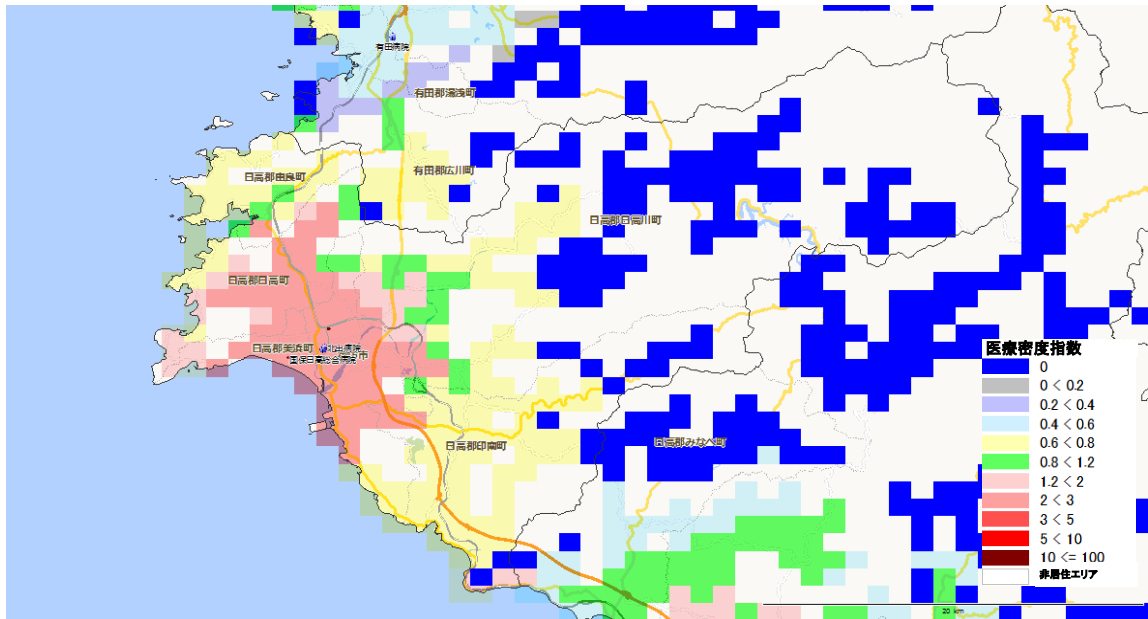
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が123床(75歳以上1,000人当たり13(全国平均32)偏差値39)であったが、2017年に51床(75歳以上1,000人当たり5(全国平均20)偏差値36)と、72床の減少、率にして59%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



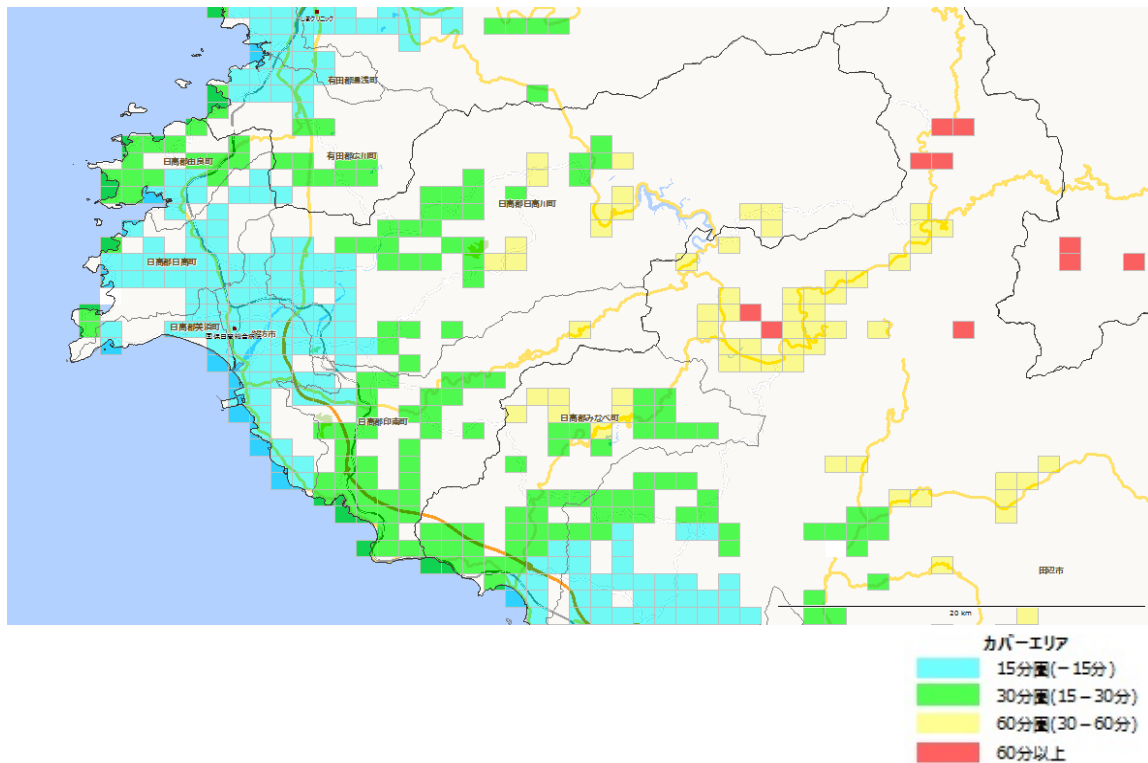
(御坊医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表30-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表30-5-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

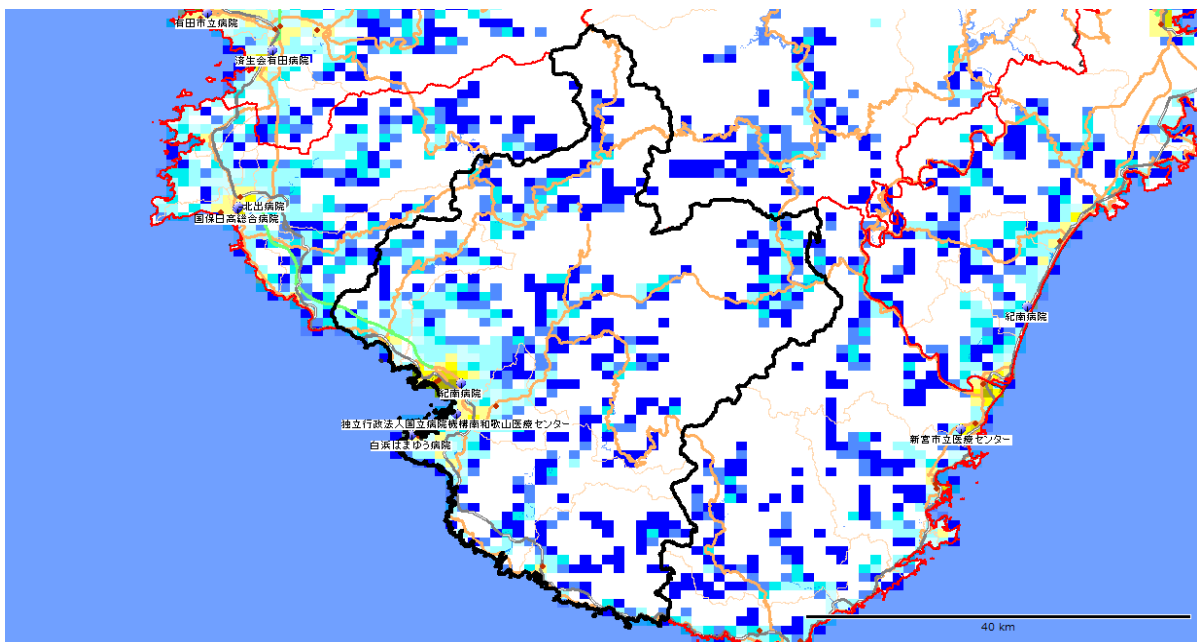


30-6. たなべ 田辺医療圏

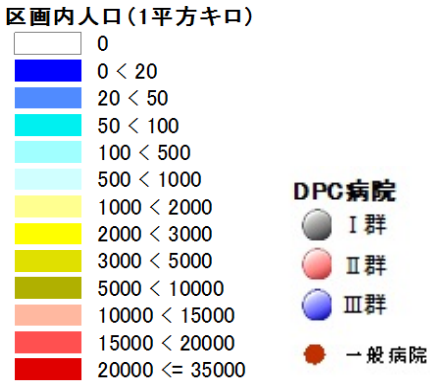
構成市区町村 [田辺市](#) [みなべ町](#) [白浜町](#) [上富田町](#)
[すさみ町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。
 赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は
 中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
 少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS
 Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



(田辺医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 田辺(田辺市)は、総人口約128千人(2015年)、面積1,580km²、人口密度は81人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 田辺の総人口は2025年に114千人へと減少し(2015年比-11%)、2040年に92千人へと減少する(2025年比-19%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の22千人が、2025年にかけて25千人へと増加し(2015年比+14%)、2040年には24千人へと減少する(2025年比-4%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 田辺の一人当たり医療費(国保)は311千円(偏差値42)、介護給付費は311千円(偏差値67)であり、医療費は低い、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 田辺の一人当たり急性期医療密度指数は1.34、一人当たり慢性期医療密度指数は1.91で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が49(病院医師数48、診療所医師数53)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにはほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は56と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は54で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。田辺には、年間全身麻酔件数が1000例以上の紀南病院(Ⅲ群)、500例以上のNHO南和歌山医療センター(Ⅲ群・救命)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は58と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値51と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値52と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は60で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 田辺の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,355人(75歳以上1,000人当たりの偏差値53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,650床(偏差値62)、高齢者住宅等が705床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,025人(75歳以上1,000人当たりの偏差値63)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設58、特別養護老人ホーム54、介護療養型医療施設66、有料老人ホーム39、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム44、サ高住59である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は偏差値44と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値68と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、643人(75歳以上1,000人当たりの偏差値79)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-6%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数ではほぼ対応可能である。

(田辺医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

田辺医療圏の総人口は、2005年140,409人が、2015年に128,161人と9%減少し、2025年の人口が114,042人と予測され、2005年→2025年の間に19%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に1%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

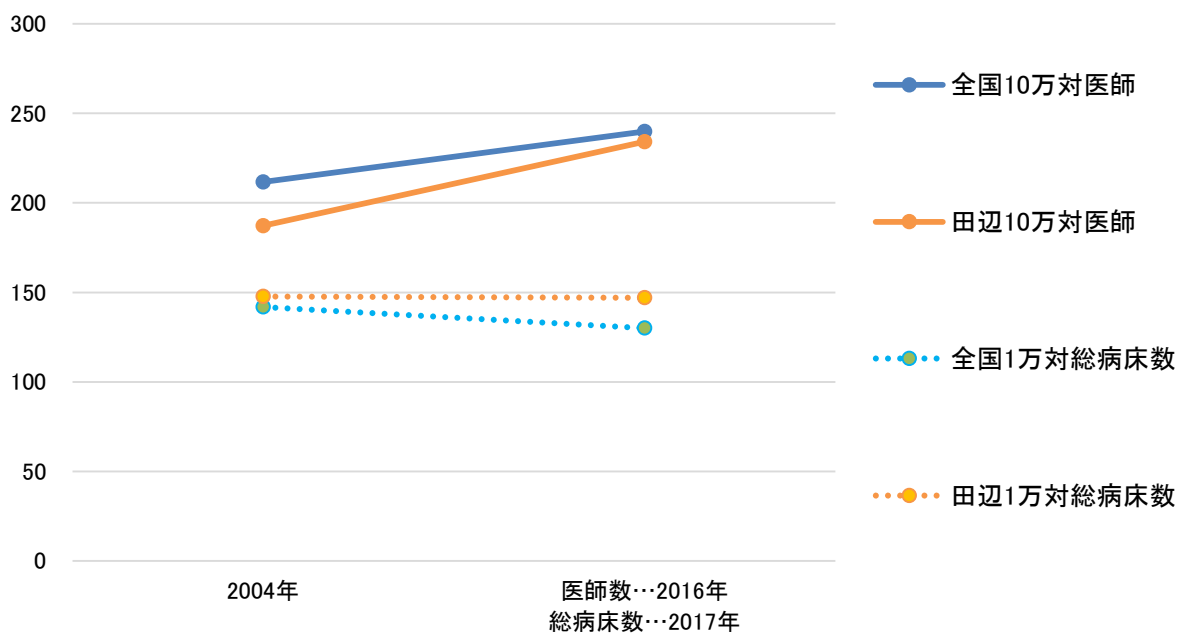
2004年の病院数が9(人口10万人当たり6.4病院(全国平均7.1)偏差値48)であったが、2017年に9(人口10万人当たり7病院(全国平均6.6)偏差値51)となり、13年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が121(人口10万人当たり86診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2017年に126(人口10万人当たり98診療所(全国平均80)偏差値60)と、5診療所が増加した。

2004年の総病床数が2,074床(人口1万人当たり148(全国平均142)偏差値51)であったが、2017年に1,884床(人口1万人当たり147(全国平均130)偏差値53)と、190床の減少、率にして9%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

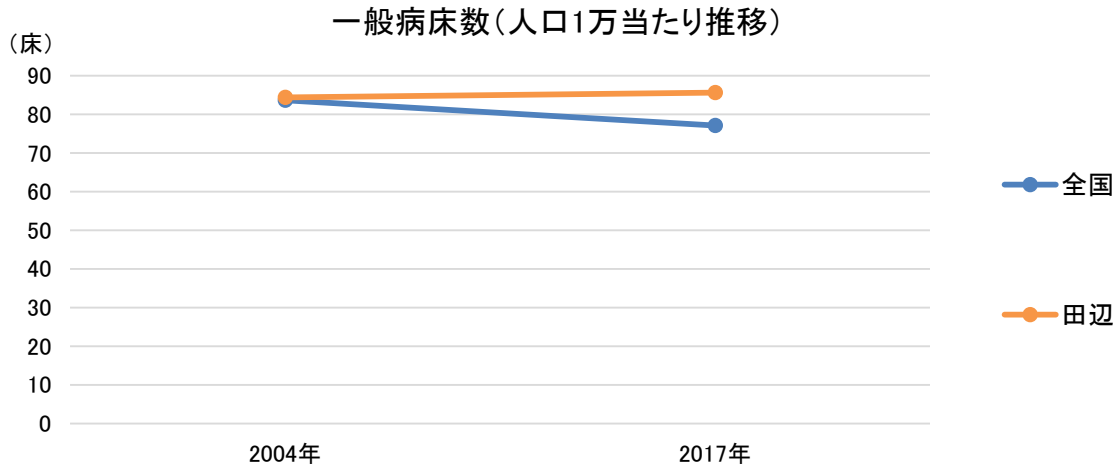
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が263人(人口10万人当たり187人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2016年に300人(人口10万人当たり234人(全国平均240人)偏差値49)と、37人の増加、率にして14%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



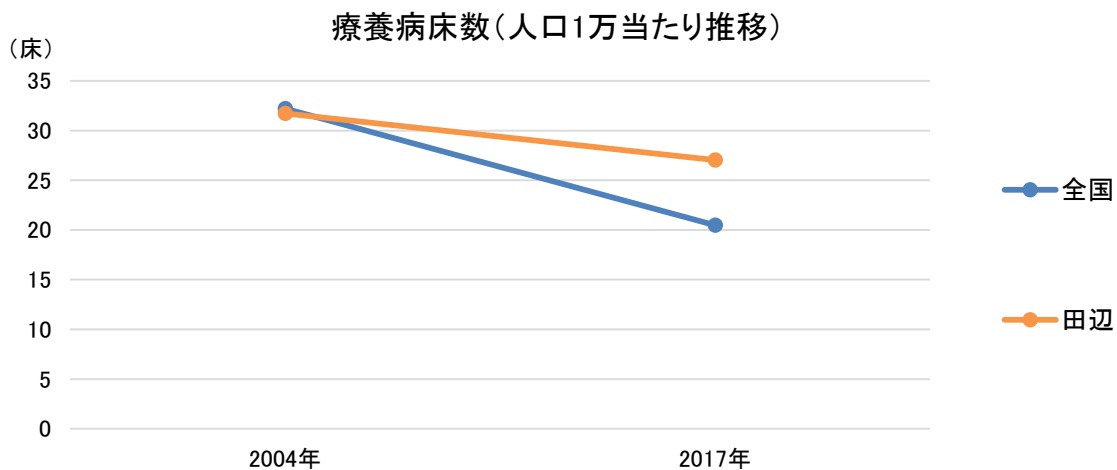
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,185床(人口1万人当たり84(全国平均84)偏差値50)であったが、2017年に1,097床(人口1万人当たり86(全国平均77)偏差値53)と、88床の減少、率にして7%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



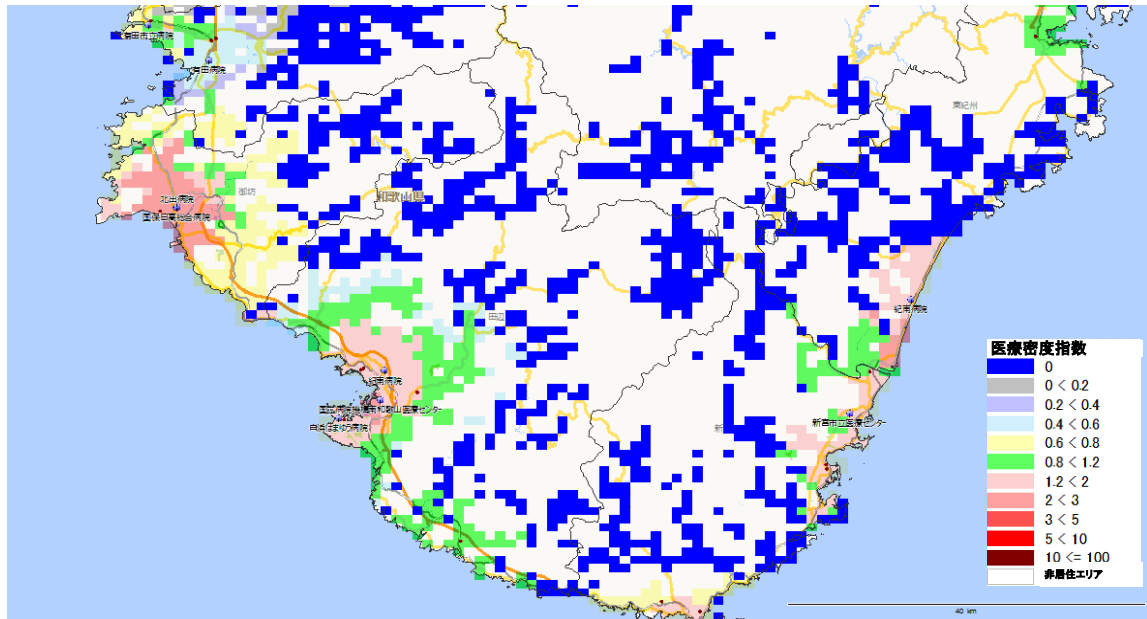
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が577床(75歳以上1,000人当たり32(全国平均32)偏差値50)であったが、2017年に585床(75歳以上1,000人当たり27(全国平均20)偏差値56)と、8床の増加、率にして1%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



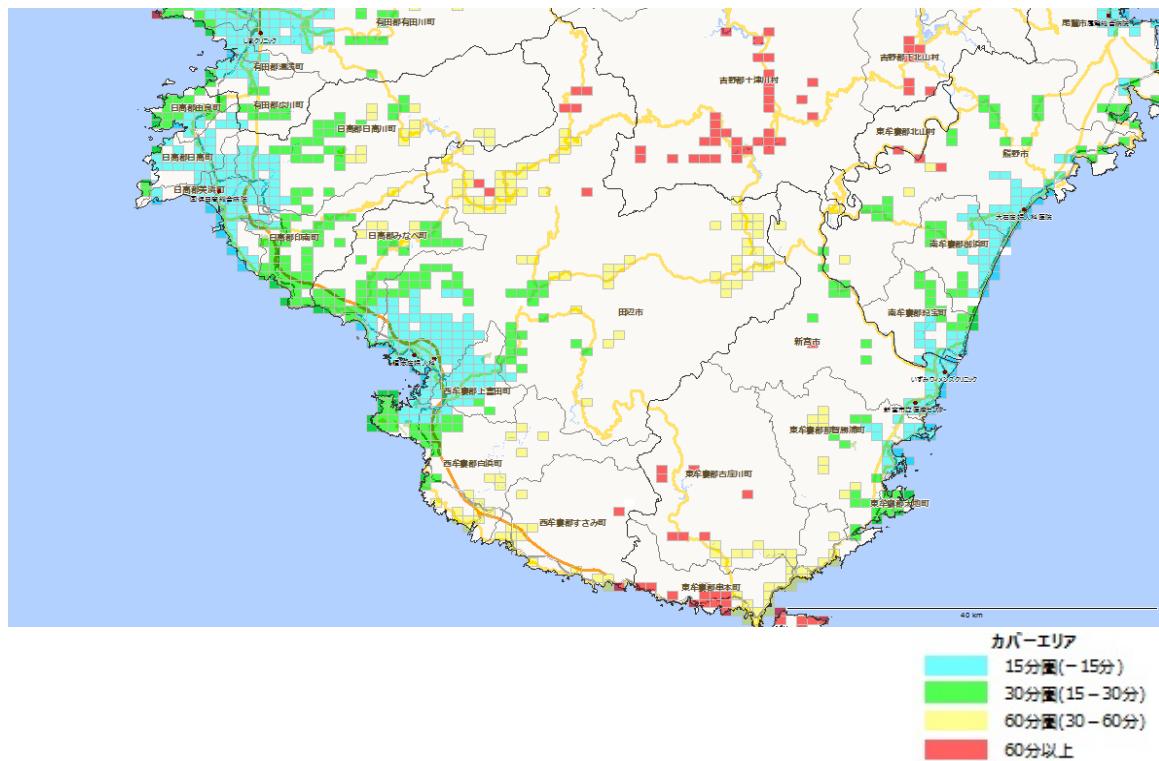
(田辺医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表30-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表30-6-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

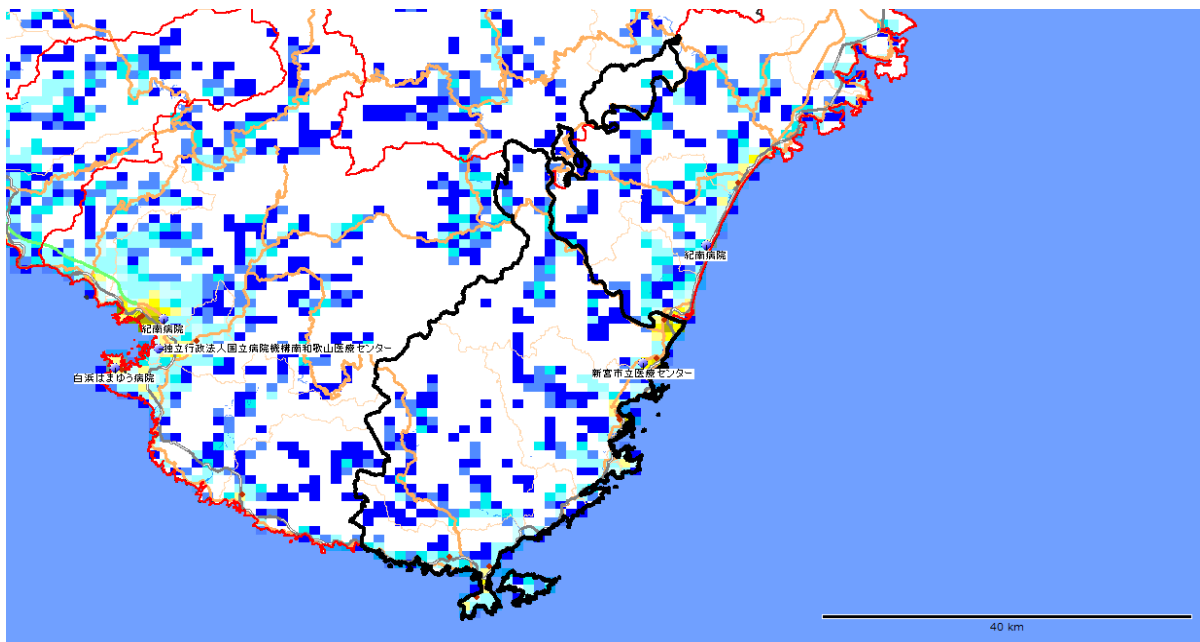


30-7. しんぐう 新宮医療圏

構成市区町村 [新宮市](#) [那智勝浦町](#) [太地町](#) [古座川町](#)
[北山村](#) [串本町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口 (1平方キロ)



DPC病院



(新宮医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 新宮(新宮市)は、総人口約68千人(2015年)、面積922km²、人口密度は74人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 新宮の総人口は2025年に56千人へと減少し(2015年比-18%)、2040年に41千人へと減少する(2025年比-27%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の14千人が、2025年にかけて16千人へと増加し(2015年比+14%)、2040年には13千人へと減少する(2025年比-19%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 新宮の一人当たり医療費(国保)は351千円(偏差値51)、介護給付費は287千円(偏差値60)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 新宮の一人当たり急性期医療密度指数は1.09、一人当たり慢性期医療密度指数は1.28で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が47(病院医師数44、診療所医師数55)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は55とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は58で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は40と少ない。新宮には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は62と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値44と少なく、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は61で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は64で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 新宮の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,201人(75歳以上1,000人当たりの偏差値38)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が962床(偏差値55)、高齢者住宅等が239床(偏差値33)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,148人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設47、特別養護老人ホーム57、介護療養型医療施設51、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム62、グループホーム43、サ高住36である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値43と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値57と多い。介護職員(在宅)の合計は、442人(75歳以上1,000人当たりの偏差値81)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-15%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(新宮医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

新宮医療圏の総人口は、2005年79,408人が、2015年に67,930人と14%減少し、2025年の人口が56,436人と予測され、2005年→2025年の間に29%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に3%減少し、2015年から2025年にかけて8%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

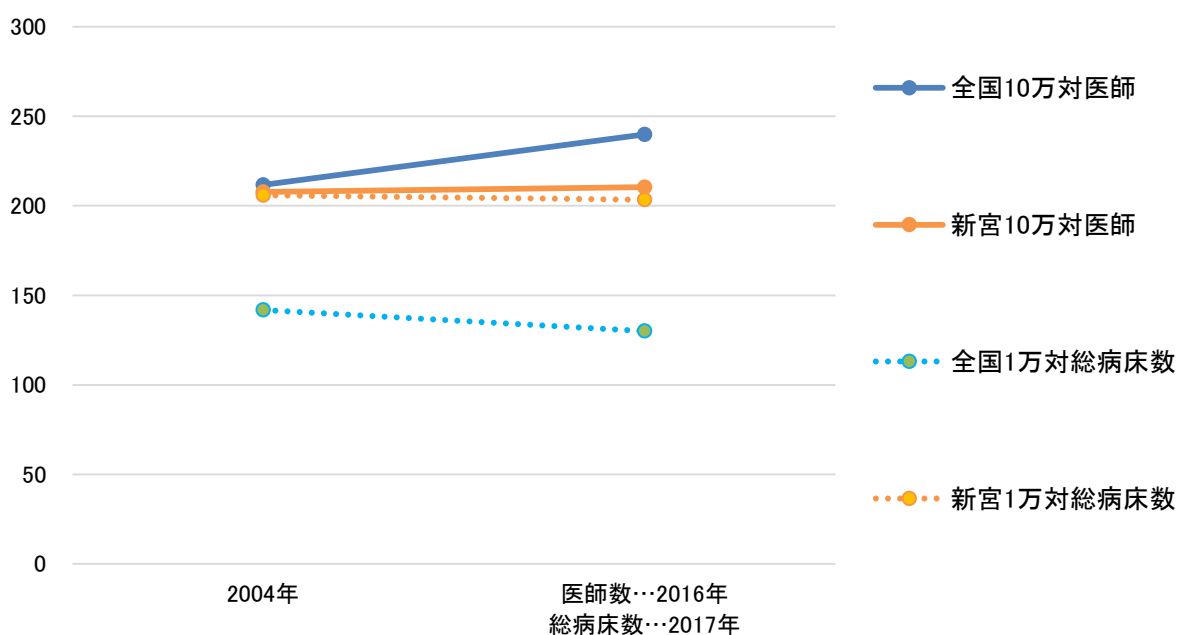
2004年の病院数が9(人口10万人当たり11.3病院(全国平均7.1)偏差値61)であったが、2017年に8(人口10万人当たり11.8病院(全国平均6.6)偏差値61)となり、13年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が79(人口10万人当たり99診療所(全国平均76)偏差値62)であったが、2017年に72(人口10万人当たり106診療所(全国平均80)偏差値64)と、7診療所が減少した。

2004年の総病床数が1,635床(人口1万人当たり206(全国平均142)偏差値61)であったが、2017年に1,382床(人口1万人当たり203(全国平均130)偏差値64)と、253床の減少、率にして15%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

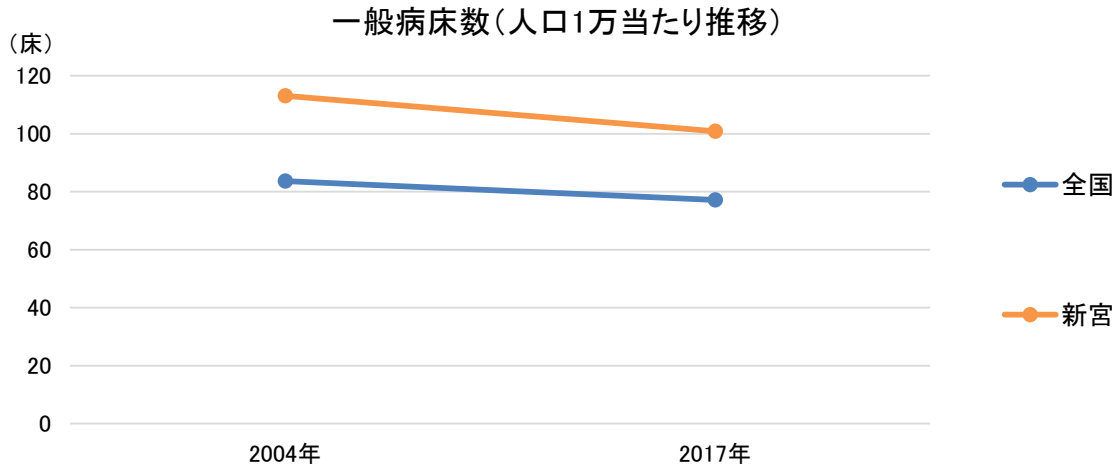
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が165人(人口10万人当たり208人(全国平均212人)偏差値50)であったが、2016年に143人(人口10万人当たり211人(全国平均240人)偏差値47)と、22人の減少、率にして13%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



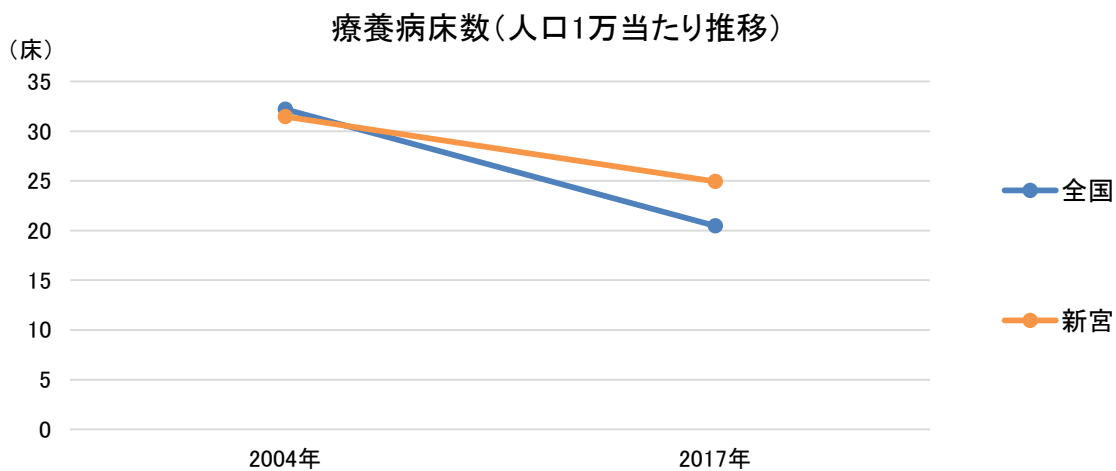
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が898床(人口1万人当たり113(全国平均84)偏差値60)であったが、2017年に685床(人口1万人当たり101(全国平均77)偏差値59)と、213床の減少、率にして24%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



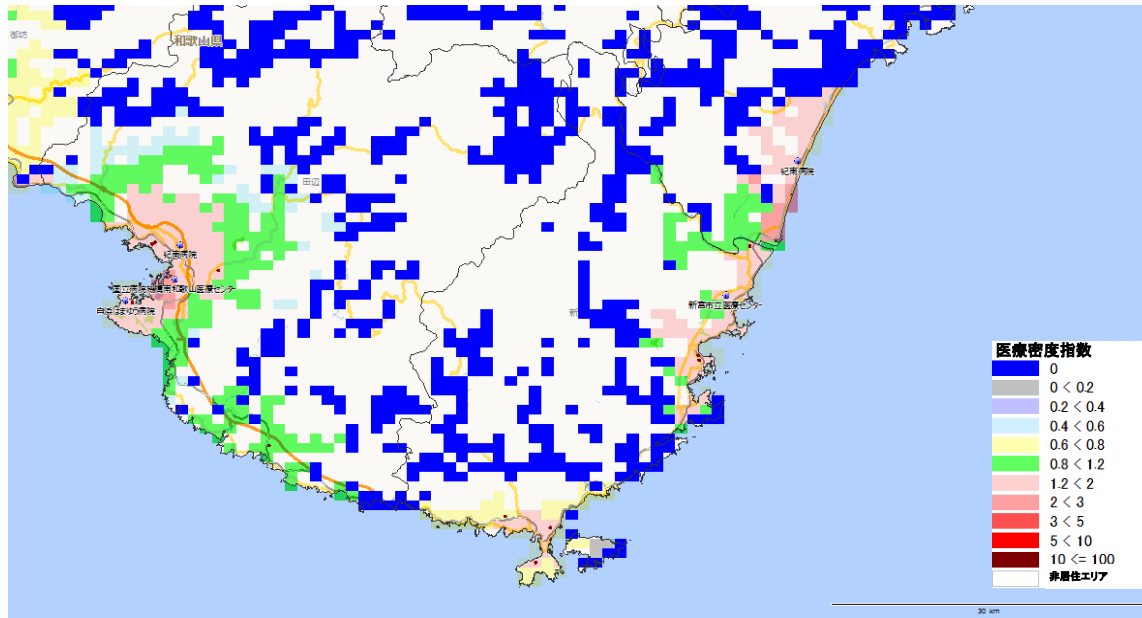
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が398床(75歳以上1,000人当たり31(全国平均32)偏差値50)であったが、2017年に358床(75歳以上1,000人当たり25(全国平均20)偏差値54)と、40床の減少、率にして10%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



(新宮医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表30-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表30-7-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

